

Ⅱ 結果の概要

1. 弘前市経営計画の各分野について
2. 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）
3. ひとづくり
4. くらしづくり
5. まちづくり
6. なりわいつくり

1. 弘前市経営計画の各分野について

●各分野の取組についてどのように感じていますか

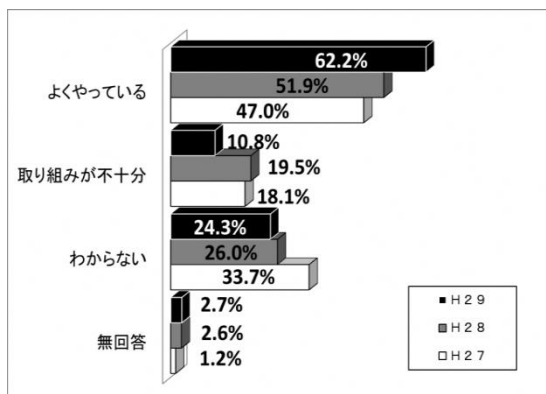
各分野ともに、平成 28 年度アンケート結果より「よくやっている」と答えた人が増加し、最も増加したのは「まちづくり」で、12.5 ポイントの上昇であった。また、「取り組みが不十分」と答えた人も、各分野ともに減少しており、最も減少したのは「まちづくり」の 10.9 ポイント減少であった。

また、「よくやっている」と答えた人が最も多かった分野は「くらしづくり」で 64.9% となった一方、「取り組みが不十分」と答えた人が最も多かったのは「まちづくり」で 21.6% となった。

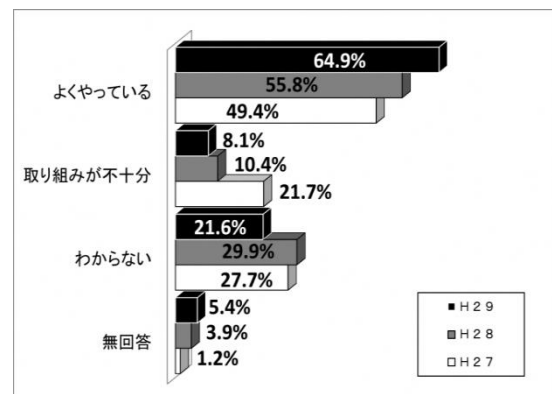
「まちづくり」については、「取組が不十分」と答えた人が、他の分野の 2 倍から 3 倍近くなっており、「まちづくり」の分野は、雪対策や道路環境、廃棄物対策など日常生活に密接な取組が多く、年代や職業等に関わらず、より快適な生活を望む人が多いことが要因であると推測される。

「なりわいづくり」については、「わからない」と答えた人の割合が年々減少しているものの、平成 29 年度は 31.1% と回答者の約 3 割という結果となった。これは、「まちづくり」や「くらしづくり」の分野に比べ、普段の暮らしにあまり関わりがないという人が多いことが要因と推測される。

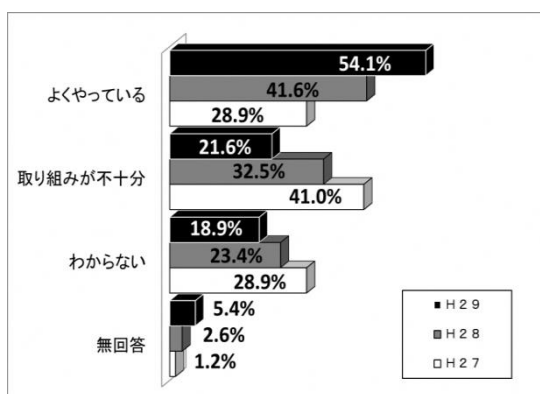
【ひとづくり】



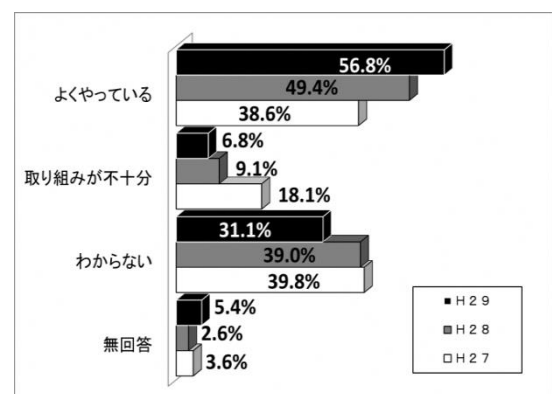
【くらしづくり】



【まちづくり】



【なりわいづくり】



2. 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）

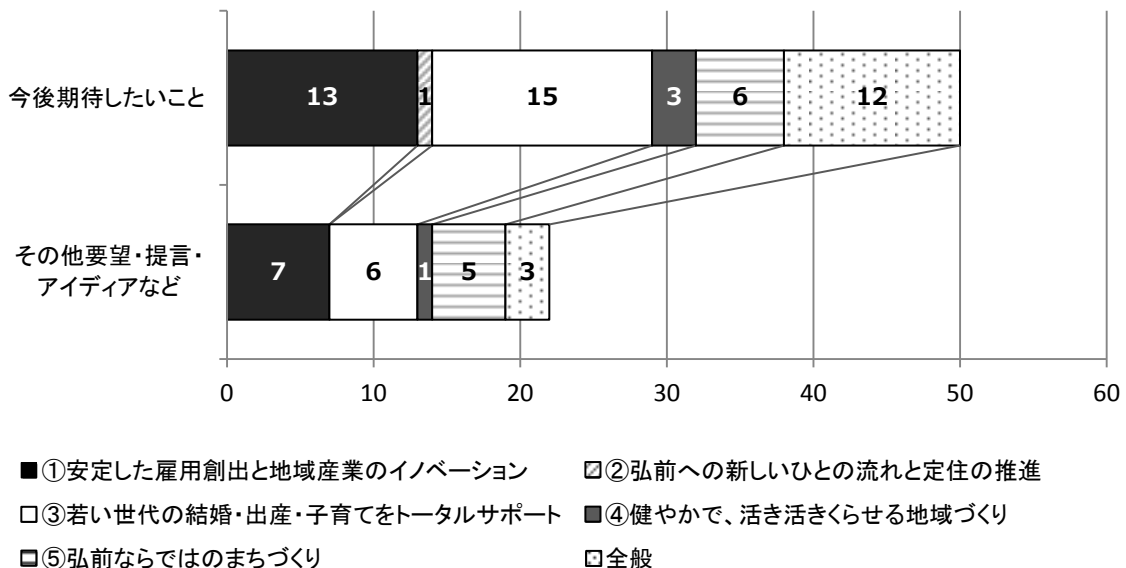
人口減少の抑制と地域経済の維持・成長を目的に、弘前市経営計画の中から、次の5つの基本目標「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」、「②弘前への新しいひとの流れと定住の推進」、「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」、「④健やかで、生き生きらせる地域づくり」、「⑤弘前ならではのまちづくり」に対して貢献度の高い施策・事務事業を抽出し構成しており、人口減少による社会的影響の緩和に向けた取組を分野横断的に推進。

「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）」の取組に関する自由意見

「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）」の取組について、「今後期待したいこと」、「その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「今後期待したいこと」については50件の意見があり、上記の5つの基本目標に分類すると、「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」に関する意見が最も多く15件、次いで「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」に関する意見が13件となっている。

「その他要望・提言・アイディアなど」については22件の意見があり、分類すると、若者の定住を図るためにも雇用の創出が必要など「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」に関する意見が最も多く7件、次いで「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」に関する意見が6件となっている。



・・・【弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）で今後期待したいこと】・・・

①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション 13件

- まずは「安定した雇用創出」。これがないと、次には繋がっていきにくいと思う。（40歳代・女性）
- 人口減少の対応としては、何としても若者の地元定着が重要と思われる。その意味からも、U・J・Iターンの促進や若者・女性の雇用環境の改善が必要であり、これらに関連づけながら、商工会、地元企業、市関連部署が連携して取り組んでいただきたい。（60歳代・男性）
- 人口減少の抑制 市内の大学生が市内の企業へ就職し、定住しやすくなること。夜や冬に安全に道を歩きやすく。（20歳代・男性）
- 弘前市で働く場が増えること。（20歳代・女性）
- 安定した雇用創出と地域産業のイノベーションに期待したい。弘前からの人口流出対策にしても、地域の活力低下対策にしても、安定した仕事がないと成しえないことだと思うし、それが実現してこそ経済が回ると思います。「学都ひろさき」と言うくらいですので、大学生が卒業後に弘前にとどまってもらえるような環境づくりが必要だと思います。（20歳代・女性）
- 学生～若者世代の学校・就職先が少なく、県外に流れ、結果人口減少につながっていると思うので、とにかく学生がもっと学べる学校、就職率のアップを期待しています。（40歳代・女性）
- 若者と女性の雇用環境の改善に期待したい。具体的にどのように改善するのか教えていただきたい。（20歳代・女性）
- 安定した雇用（特に若い世代）（40歳代・男性）
- 県外へ就職する方の理由は、ほぼ県内において安定した雇用条件を満たしていないからだと思う。雇用条件を見直し創出していただきたい。（30歳代・男性）
- 若い世代が農業を継ぎやすいような仕組みを作って、弘前市をもっと元気にしてほしいです。また、新しく農業をやりたいと思っている人へ、公的機関からの補助金や取り組み事例など、見たり聞いたりできる機会をもっと増やして欲しいと思います。そうすることで、人口減少にも歯止めをかけることができたらいいなと考えています。（30歳代・女性）
- りんご産業イノベーションは、多角的アイデアをもって、新たな弘前の良さを発信できるものと期待しています。（60歳代・男性）
- りんご農家の中で自分たちで付加価値をつけて販売しているニュースを見るようになった。（シールドやりんごジュース等）。農家も収入アップにならないと弘前全体が活気づかないと思う。（50歳代・女性）
- 市内の企業にもっと育休の理解を深めてほしい。Uターン者が職に就けるように、働き口の幅を広げてほしい。（20歳代・女性）

②弘前への新しいひとの流れと定住の促進 1件

- 人口減少を回避して欲しい。U・J・Iターンで急に移住するのは難しいという人のために、お試しで住める場所の確保が必要と思う。市営住宅を特例で提供するなど。シェアハウスを提供して同じ境遇の人たちが情報交換できるようにするのもいいと思う。（40歳代・男性）

③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート 15件

- 近隣市町村で結婚へのサポートが実現すると子どもたちも増えると思う。（70歳以上・女性）
- 若者達が今ひとつ結婚に関して前向きな感じが無い様な気がします。（50歳代・男性）
- 目標③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポートするための弘前方式の施策を大いに進めてほしい。（60歳代・男性）
- 目標③の2「安心して妊娠・出産できる環境づくり」が安定すると弘前市に住む人も増え、活発になると考える。（20歳代・女性）
- 人口減少抑制を最重要課題として5つの目標を設定しています。私は③に対して、具体的にどんな取り組みをしどんな実行がでてくるか大いに期待しております。①②④⑤と書き連ねていますが、思い切り中身の濃い、そして短期間に効果や実効性が出てくることに期待します。27年、28年と提言しています。子どもに対しての経済支援対策しか効果は期待できないでしょう。医療費、学費などはもちろん、もっと思い切った経済支援を実施すべき。もうここまでくればこれしかないと思う。財源は必ず出てきます。必ず実行してほしい。子どもに1人年間いくら。3～5年間継続など。（70歳以上・男性）
- 最近私の周りには家族で弘前に移り住んできたという方が数人います。その方々から聞かれますことは子どもが気軽に遊べる公園が少ないということです。身近な場所に小さな公園が欲しいということです。お出かけして遊ぶというのではなく「ちょっとそこで遊んできます。」という感覚の場所があるといいなということです。（60歳代・女性）
- 「女性が輝き、活躍する社会」の国策もあり、仕事を続けたいと考える女性が増えると思われ、働く女性の出産や子育て支援を充実させる必要があると思います。仕事をするため、年収が上がるため、保育料の軽減策などを受けられない矛盾が出てくると思います。環境が整備されないと、結婚、出産を諦めるかもしれません。例えば、保育園で子どもが熱を出すなど体調が悪くなった時に、すぐに仕事を休めるか、二人目の子どもが、一人目と同じ保育園に通えるかなど、「子育てサポートシステム運営事業」では対応していない部分があり、「子育てびいき」した支援策が必要だと思います。（50歳代・女性）
- 子どもの教育レベルの向上（40歳代・女性）
- 人口減少問題は、非常に大きな課題であると考えています。大切な点は、若年層、特に赤ちゃん～中高生位の子どもたちをどう確保するか、その子たちにどう弘前市への想いを強めてもらうかであると考えます。弘前で育ち、弘前のことが好きになれば、弘前の成長、繁栄に尽力してくれる力となり、また弘前を離れてもまた戻ってきてくれると考えるからです。そういう意味で、③は①～⑤の中で最重要課題であると考えます。③は人間の営みの中で最も重要なことですし、人口減少をくいとめるうえで、他市町村の力を借りることなく自市のみで解決していく上でも非常に大切なので、ぜひこれを充実させるべく、今後とも取り組んでいただきたいと思います。（30歳代・女性）

- ①安定した雇用創出と地域産業のイノベーションと③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポートの取組を期待、特に③において、教育と医療の軽減 or 無償（料）化。大幅に！（60 歳代・男性）
- 出産、子育てのサポートの充実が見て取れるので推進してもらいたい。（20 歳代・男性）
- 子育て支援（20 歳代・女性）
- 私も将来、子どもが欲しいのですが、お金や仕事のことが気になるので、子ども（子育て）にかかる費用の軽減、仕事をしながら子育てを行える環境調整（20 歳代・女性）
- とにかく教育。28才の息子に人口減少で高校は無くなるよと言っても、まだ50年先でしょう、みたいに言います。3才の孫が高校に入るところには弘前市内でも私立の高校はひとつは無くなっているよと言っても、ふ〜んみたいな感じです。働く場も無くなるということです。人口が減るとどうなるのか。とにかく教育、広報活動です。だから何をしていくのか、考え動き出さないとダメです。学校での教育と、20代・30代若者の意識改革です。結婚にしても教育です。男女仲良しが楽しい。と、小さいうちから教育が足りない。（50 歳代・女性）
- 弘前で子どもを育てたいと思えるモデルケースが見たい。（30 歳代・女性）

④健やかで、生き生きらせる地域づくり 3件

- 年長者が安心してゆったり過ごせる町づくり（60 歳代・女性）
- 活力ある長寿社会の構築にもっと力を入れるべきである。（70 歳以上・男性）
- 長寿社会の構築のため各地域に健康づくりサポーターの配置やいきいき健診制度開設により市長の長寿社会に期待を持っています。（70 歳以上・男性）

⑤弘前ならではの地域づくり 6件

- ⑤弘前ならではのまちづくりをどのように取り組みを進めていくのか。（50 歳代・男性）
- 土手町、駅前がもっと栄えると人が来るのかな…（20 歳代・女性）
- 弘前市は豊かな生活を送る為の公共インフラが決して充実しているとは言い難く、それらを充実させることが必要ではないか。（40 歳代・男性）
- 時宜を得たすばらしい戦略を、オール弘前体制で進め、実現していくためにこの戦略ができるだけ多くの市民の心に届き、それぞれの立場で前向きな生き方ができるようにするための戦略の普及・啓発事業に力を入れ、市民を巻き込んでの動きになるように期待したい。（70 歳以上・女性）
- 自助・共助による地域防災力の向上…全国、県内で見ても圧倒的に低い自主防災組織組織率。市民の防災意識の向上が求められます。雪対策イノベーションの推進…冬の朝の間口除雪負担の軽減。（30 歳代・男性）
- 基本的に目標設定は良いと思います。期待する点として、弘前らしさ（伝統など）を守る部分と、弘前らしく新しいものを取り入れる部分の見極めは慎重に行ってもらいたいと思います。弘前市は基本的に昔からある伝統的なものを守ることが一番大事だと思います。

それは、他の市町村には無い素晴らしいものが多いからです。よって、弘前市はおもいきり保守的なスタンスをとることが大事だと思います。弘前に新しいものを取り入れるには、この保守を打ち破るくらいのものでなければ、取り入れない方が良いと思います。なんでもかんでも受け入れることで、他の市町村と同化し没落すると思います。だから基本的には保守的にあって欲しいと思います。（30 歳代・男性）

●総合戦略全般について・その他の意見 12件

- 若い世代へのサポートを強力にしてほしい。仕事の安定、結婚、子育て。（60 歳代・女性）
- 目標②1UJ ターンの促進、目標③2安心して妊娠・出産できる環境づくり、3子育て環境の改善、目標④2活力ある長寿社会の構築。（70 歳以上・女性）
- 5つの基本目標でどの分野が最も取り組まなければならないのか。経費が少なく効果があるのか。（50 歳代・男性）
- さらなるアイデアを出してほしい。（60 歳代・男性）
- 人口減少対策をすることはとても重要だと思うので、この取り組みはとても良いと思う。（20 歳代・女性）
- 人口減少抑制を期待したい。（20 歳代・男性）
- 「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」、「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」に関しての対策で改善されていくことを期待しています。雇用が無ければ若い人たちは県外へと出てしまい、弘前での結婚・出産にもつながらず、少子高齢化で若者の負担は大変なものになってしまう。頑張ってもらいたいです。（30 歳代・女性）
- 弘前がもっと住みやすい街になる事。（40 歳代・女性）
- 移住・定住の促進と地域産業のイノベーション（30 歳代・男性）
- 5つの基本目標すべてが充実して、はじめて成果につながると思うので、余すことなく取り組んでほしいと思います。（50 歳代・女性）
- 取組の内容はごもっともで、それをいかに実現するかが課題だと思う。問題点、改善点を見つけて提起することも大切だが、実行されないと意味がない。行政に関心のない若い人たちの関心をどのように引きつけるか。自分たちの生活の基本には行政があるということを認識してもらえればと思う。（50 歳代・女性）
- 私は弘前以外の町から定住した者で一言で住みやすいとは言いがたい。まず閉鎖的で新しいことを自分の時にやりたがらず、まず何より（所得による）税金の高さには嫌気がさす。仕事のあるうちは住んでいるだろうが老後となれば話は違ってきて、文化的には好きなどころはあるがもう少しムダを省きつつ、本当に必要なところに必要最低限にばらまかなくては見かけ倒れのハリボテにならないだろうか不安です。（50 歳代・女性）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他の要望】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション 7件

- 学生の皆さんのご活躍が様々なところで見られますが自立して生計を立てていけるようになれるともっといいですネ。(60歳代・女性)
- 就業人口の上昇とあるが、そのためには企業などの働き口への支援や対応も求められると思うので、市と働き口が協力して、雇用の創出をしてほしい。(20歳代・女性)
- 大学生が地元企業と関わるのが少ないと感じます。そもそも地元にとどのような企業があるのかを知らない学生が多いです。就活が始まる前に地元企業との接点があれば、地元就職も増えるのではないのでしょうか。インターンシップというものもあるにはありますが、全員ができるものでもありません。6大学コンソーシアムなどが主催して就活イベントというか、地元企業がどのような活動を行っているのか広報する催しをやってみてはどうでしょうか。就活をしていても他大学の学生と会うことで刺激にもなるだろうし、地元企業を知るきっかけにもなります。学生を弘前に留めるためにも、まずは地元企業を知ってもらい取り組みが必要だと思います。(20歳代・女性)
- 学生への求人や企業などの情報、魅力をアピールする機会をもっと作ってほしい。(20歳代・男性)
- 地域的な問題はありますが、まず若い人たちが満足し、働けるような雇用の確保が重要だと思います。(50歳代・女性)
- 女性の雇用環境・社会進出ばかり注目されているが、女性のアルバイトや補助的な雇用は足りていると思う。一番大切なのは、一家の大黒柱となる若い男性の安定雇用。コンビニばかりでいても大雇用にはつながらず、経済の活性化にはならないと思う。大企業の誘致と断続的な運営が望まれる。(50歳代・女性)
- 私はりんご作りです。りんごの歴史とりんごの文化の振興を強く希望します。市長によるトップセールスも良いでしょう。でもこんなことはもう時代遅れでしょう。りんごの生産・販売に根ざした歴史と文化を市民総ぐるみで喚起して津軽のりんご文化を築いていくべきと思っています。(70歳以上・男性)

②弘前への新しいひとの流れと定住の促進 0件

③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート 6件

- 結婚に対してまだまだ足りないと思う。もっともっと小刻みした方が良いと思う。広報誌ではなく、身近に回覧板とか町会単位での努力もあった方が良いでしょう。(50歳代・男性)
- 結婚・出産・子育てについては、世間的に経済力が最大のネックであるように伝えられているがはたしてそれが全てであろうか。相手(他人)と一緒に暮らす、命を授かる、命を育てることに自らの意識が追い付いていない(未熟が原因ではないか？行政からのサポートは本当に必要とする対象に限るべきと思う。誰でも家庭を持つと特典がありますよといった形では人づくりに繋がらない。(40歳代・男性)
- 今後の弘前を守り育てる子どもたちの教育に是非ひとかたならぬ力を入れていただきたい

い。隣県である秋田の教育レベルが高いことに、素直にとてもうらやましさを感じます。子どもたちが弘前を大切に思えるためにも、弘前らしい特別な義務教育時代を与えてほしいと願います。（40 歳代・女性）

- ・ 特になし。私は将来、医療関係職になる予定なので病院施設内に保育園を作してほしい。（20 歳代・女性）
- ・ 他の町村にあるような、第2子目からの出産に祝金が出たり、若い世代の住宅建築を補助するような制度があれば、弘前に居住しても良いと考える人達が増えるのではないのでしょうか。（30 歳代・女性）
- ・ 子育て支援を充実させてはどうか。（ex 西目屋村）（30 歳代・男性）

④健やかで、活き活きくらせる地域づくり 1件

- ・ 医療費、税金等安くしてほしい。（70 歳以上・男性）

⑤弘前ならではの地域づくり 5件

- ・ 1%システムで残った予算額については、弘前方式として、人口減少対策として確保し使用するとともに、将来にわたっての財源として積み立てる方法は考えられないか。（70 歳以上・男性）
- ・ 他の市町村とのちがい。弘前らしさ？（50 歳代・男性）
- ・ 観光客に対する防災計画を明文化し、関係業者に徹底し、地域（町会）全体でのサポートを要請する。（60 歳代・男性）
- ・ 公民館などにジムの設備をおく、ホームページをもっと見やすくする、災害に対する備えを更に充実させる等。（40 歳代・男性）
- ・ 行政と地域・町会コミュニティとが協働できるようなパイプ役（市役所及び地域単位の担当者）を設け定期的な会合・連絡の体制ができると、住民参加型の元気な町会が期待できそうに思います。（70 歳以上・女性）

●総合戦略全般について・その他の意見 3件

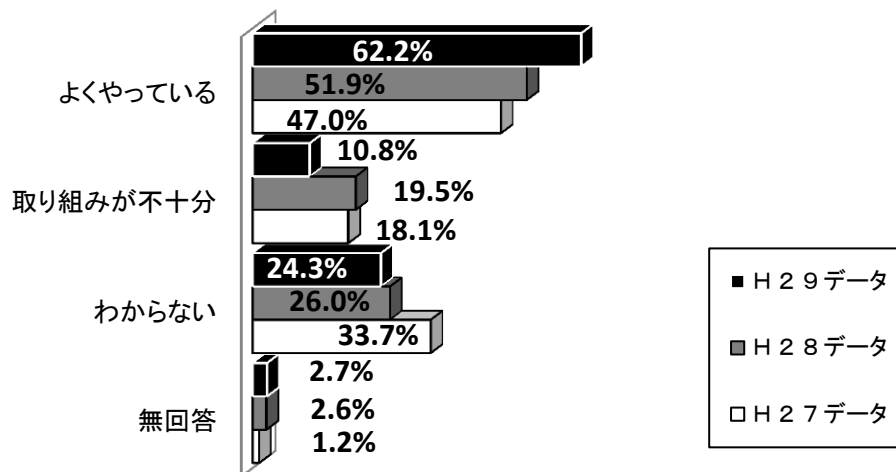
- ・ 他の地域との交流を増やし、市民がもっと視野が広い考え方ができるようになってほしい。（20 歳代・男性）
- ・ 四季があって、祭りがあって、人が良くて住みやすい街であるとアピールです。国の政策を待っていても仕方がない。（50 歳代・女性）
- ・ 様々な政策を試み、実施されていて、大変良いと思います。もっと若い人にアピールして、それぞれの政策のメリットを知ってもらい、興味を持って参加してもらえるように働きかけたらいいのではないのでしょうか。そうすることで『地元で暮らしたい』と思ってもらえれば、弘前市が少しずつ変化してくると思います。（30 歳代・女性）

3. 分野別政策 ひとづくり

未来を担う人づくりを進めるため、結婚し、子供を産み育てるための環境づくりを行うとともに、確かな学力の定着や豊かな心を育む教育の充実を図る。また、多種多様な学習機会の提供や、文化・スポーツ活動を振興するなど、生涯学習の充実を図る。

「ひとづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「ひとづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は 62.2%となっており、平成 28 年度より 10.3 ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は 10.8%となっており、平成 28 年度より 8.7 ポイント上昇している。「わからない」と答えた人の割合は 24.3%となっている。



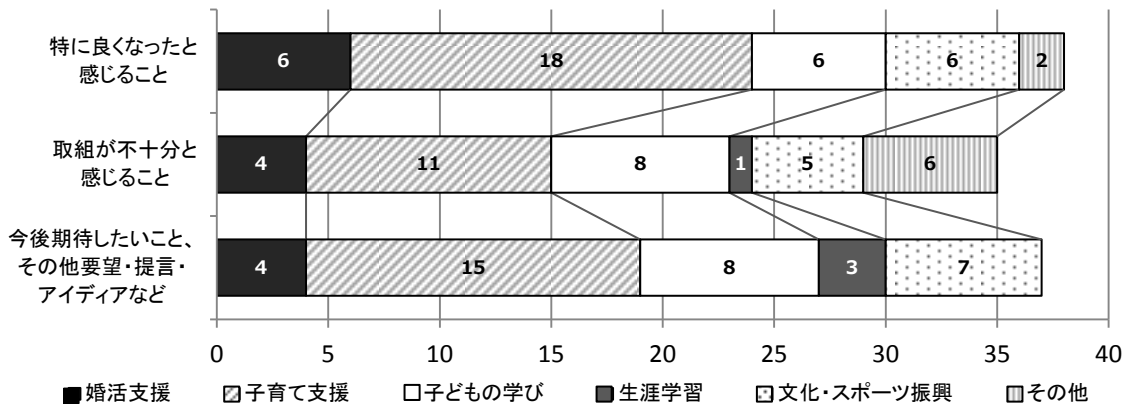
「ひとづくり」の分野における自由意見

「ひとづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特によくなったと感じること」については 38 件の意見があり、分類すると、子ども医療費の給付や、多子家族学校給食費・上下水道料金の支援が拡充されたことなど、子育て支援に関する意見が最も多く 18 件、次いで婚活支援、子どもの学び、文化・スポーツ振興に関する意見がそれぞれ 6 件となっている。

「取組が不十分と感じること」については 35 件の意見があり、分類すると、子ども医療費の給付には所得制限があることなど子育て支援に関する意見が 11 件、次いで子どもの学びに関する意見が 8 件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」については 37 件の意見があり、分類すると、こちらも多子家族に対する経済的支援や共働き世帯への支援など子育て支援に関する意見が最も多く 15 件、次いで子どもの学びに関する意見が 8 件となっている。



・・・・・・・・・・・・・【この分野で特に良くなったと感じること】・・・・・・・・・・・・・

●婚活支援 6件

- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業 先日、たまたまヒロロでのイベントを見る機会があり、成功例を示すのはいいと思う。また、広域になったのも良いと思う。(70歳以上・女性)
- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業によって、結婚を望むが、出会いの機会がない人の結婚につながる可能性が高くなると思う。(20歳代・男性)
- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業において、弘前圏域定住自立圏構成市町村で連携しているのは良いと思う。(20歳代・女性)
- ・ 婚活パーティーのチラシは見るようになったので、前よりは活動しているように感じる。(40歳代・女性)
- ・ 「弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業」に市の意気込みを感じる。(30歳代・男性)
- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業 なかなか出会いの場がない若者にとって市町村が連携し出会いの場を設けてあげることは、一歩踏み出すいいきっかけになると思います。(50歳代・女性)

●子育て支援 18件

～経済的支援について～

- ・ 子ども医療費給付事業により笑顔あられる子育てが出来ると思います。(70歳以上・女性)
- ・ 子ども医療費の拡充は大いに賛成。(60歳代・男性)
- ・ 子どもの貧困が進む中で、医療費・水道料の拡充・補助は評価できる。(70歳以上・男性)
- ・ 多子家族に対するサポート：応援パス、学校給食費助成など。とても助かります。(40歳代・女性)

- 子ども医療費給付：中学３年生までに拡充されたことは、大変ありがたいです。（４０歳代・女性）
- 子ども医療費給付事業・中学生３年までは今やスタンダード。やっと追いついてくれました。（３０歳代・男性）
- 多子家族学校給食費、上下水道料金支援事業などを新しく取り入れたことによって、多子家族の家庭にとっては暮らしが少しでも負担が軽くなり、必要なものにお金をまわすことができるようになったのではないかと感じます。（２０歳代・女性）
- 多子家族学校給食費、上下水道料金支援事業。少子高齢化が進んでいる社会なので、子どもを産むことがメリットになればいい方に進んでいくと思う。（２０歳代・女性）
- 子ども医療費給付事業、多子家族学校給食費・上下水道料金支援事業が、広報ひろさきの市政情報ページにとっても分かり易く紹介されていて、この事業が実現されていくことを大変嬉しく感じた。（７０歳以上・女性）
- 多子家族学校給食費、上下水道料金支援事業。子どもが多い世帯にはとにかく経済的に助かることが何よりありがたいと思う。（４０歳代・女性）
- 多子家族の学校給食費の半額助成？水道料金の２,０００円の補助？やりすぎなくらい驚いた！（５０歳代・女性）
- 子育て支援の拡充が進んできていて、経済的にも不安がやわらいできました。（３０歳代・女性）

～その他（子育て支援について良くなったと感じること）～

- 不妊治療費助成：不妊に悩む友人が身近に何人かいます。一般不妊治療も助成の対象になったことで、選択の幅が広がり、妊娠につながればと思います。（４０歳代・女性）
- 病児保育と病後児保育が別々になったこと、「ぎゅっと！」が充実していること、子どもたちが体を動かせる場、子ども向けのイベントが増えてきていること。（３０歳代・女性）
- これから子どもを持ちたいと考えている家庭への配慮はすばらしいと思う。（４０歳代・女性）
- 結婚・子育てに関する事業が充実してきていること。結婚・出産・子育て、トータルにわたっての支援は出生率低下、人口減少を食い止めることにもつながると考えるから。（２０歳代・女性）
- 最近では、幼稚園からこども園になっていき、働く母親が増えている中、良い対策だ。（２０歳代・女性）
- 子育てについての取り組みはいいと思う。安心して子供を産むことができ、育てることができる環境づくりをしようとしているのが伝わってきます。事業の拡大や新事業も多く弘前の本気が現れていると感じます。（２０歳代・女性）

●子どもの学び ６件

- 子どもの学び、ICT 教育活用教育・英語教育 孫たちとの会話で知っている。英語になじんでいると思う。（７０歳以上・女性）

- ・ ICT活用教育・英語教育の推進事業を今後も拡充しながら継続してもらいたい。未来に生きる子供たちにとって大切な要素であるため。(60 歳代・男性)
- ・ タブレット型端末を使用した授業の実施をTV ニュースで見た。時代に合わせた教育の仕方に共感できたので今後もぜひ進めてほしい。(20 歳代・女性)
- ・ フレンドシップ事業→集団になじめない子どもが多くなってきていると思うので。放課後子ども教室事業→年長者や地域の人たちとの交流が生まれ、技術と共に礼儀的なことも一緒に習得できる。(60 歳代・女性)
- ・ 小中学校の教育への取り組みが良くなったと思います。(50 歳代・男性)
- ・ 子どもを産む環境だけでなく、子育てのサポート、学習のサポートまでやっているのが良いと思う。(20 歳代・女性)

●文化・スポーツ振興 6件

- ・ 球場を改修し、プロ野球一軍戦、女子ソフトボールの東アジアカップが開催されることで、特に子どもたちが高度な試合を見ることがスポーツ振興につながると思うから。(20 歳代・男性)
- ・ スポーツの誘致に力が入っている。元々、学生のスポーツが強い地域なので、プロ等の試合でもっと活気づくと思う。(20 歳代・男性)
- ・ 運動公園施設の改修（はるか夢球場など）などハード面での整備は進展している。また、東アジアカップ女子ソフトボール大会やプロ野球一軍戦の開催などは市民の関心を高め、市の活性化の一助になっている。これらを一過性のイベントに終わらせない工夫が求められる。(70 歳以上・男性)
- ・ 文化・スポーツ活動の振興。(50 歳代・女性)
- ・ プロ野球一軍戦誘致事業。弘前でプロ野球一軍開催はとても良いことで良くやっていると感じられる。県外から観客をよび、もっと活気づけてほしい。(30 歳代・男性)
- ・ 県内初のプロ野球1 軍戦誘致事業に敬意を表します。継続事業として期待いたします。(70 歳以上・男性)

●その他（ひとづくり全般について良くなったと感じること） 2件

- ・ （不十分だと感じることは）ありません。よく取り組んでいただいていると思います。(30 歳代・男性)
- ・ 子供の学びや多様な学びについては取り組みとしてはいいと思う。(40 歳代・男性)

・・・・・・・・・・ 【この分野で取組が不十分と感じること】 ・・・・・・・・・・

●婚活支援 4件

- ・ 非婚化・晩婚化が進む中、若者の出会い特に「偶然の出会い」が少ないと思う。長期的にとらえ「偶然の出会い」の創出が急務と思う。(70 歳以上・男性)

- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業について参加した人の話を聞くと、女性が明らかにおおくて不満であると言っていました。仕方のないことですが、参加方法、基準等見直すべきかと思います。（20 歳代・女性）
- ・ 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業は、広報などを見ると、結婚・妊娠が前面に出すぎていて気軽に参加できません。（30 歳代・女性）
- ・ 出愛創出事業はあまり意味無いと思います。結婚しないのは、出会いがないのではなく、若者の所得の低さにあると思います。（30 歳代・男性）

●子育て支援 11件

～経済的支援について～

- ・ 多子家族学校給食費・上下水道料金支援事業等。（70 歳以上・男性）
- ・ 保育料の軽減について、年収制限（年収約 360 万円未満の世帯）があること及びまだ保護者負担が約 17%あること。（50 歳代・女性）
- ・ 子どもの医療費給付事業に関して、通院に係る自己負担(1,500 円/月)を廃止し、対象を中学生まで拡充していますが、所得による受給資格があること。それぞれ、年間約 6 億 4500 万円、2 億 3300 万円を要するので、拡充することは難しいとは思いますが、まだ「無いよりは、少しでもあったほうがいい」の段階に過ぎないのではないかと思います。（50 歳代・女性）
- ・ 医療費給付、所得制限があるものが多い。また、母親が息抜きできる場所がまだまだ少ない（子どもを遊ばせる＝母親にとっては義務であって、息抜きにならない。また、開放的な場だとなかなかリラックスできない。）閉鎖的な環境かつ中立な立場の保育士が駐在しているところは友人をつくるのに最適なのだが、なかなかそういうところがないのが現状。【補足】私の友人たちは夫の仕事が忙しすぎて、共働きすらできない（共働きすると家庭が完全に回らなくなる）家庭がほとんどです。そして、両親は他県という人ばかりで、そういう孤独な人が多いです。ヒロロなどは、子どものためには十分な施設ですが、やはり母親は終始気が抜けないため、息抜きにはなりません。閉鎖的な施設で、いやでも隣の人と話をしなければならぬくらいの方が、孤独で友達を作りたい人達には丁度良いのです。そして、母親たちの話し相手になり、子どもたちの遊び相手にもなり、母親がトイレや下の子のオムツの時など子どもを一時的に見てくれ、けんかの時に仲裁してくれる、プロの保育士さんがいること、これも大事です。こういう場、できないかな…。とてもとても、大切なんだけど…。と友人たちでいつも話しています。（30 歳代・女性）
- ・ 給食費助成等では中途半端ではないでしょうか。子供が2人よりも3人の方が安くなるくらい必要でないでしょうか。（30 歳代・男性）

～その他（子育て支援について不十分と感じること）～

- ・ 家庭・学校・地域・行政が連携・協働して子育てとありますが、具体的な施策が不十分。言葉として「連携」の必要性については理解できるが、具体的に実践している人や地域活動はどれほどあるのか。子育てのためのネットワークづくりを進める必要がある。（70 歳以上・男性）
- ・ 保育サービス→核家族、ひとり親家族、共働き家庭が多くなってきているいろいろなサポートをやってくれているが、もっとわかりやすく簡単に利用できるようアピールしてほしい

しい。(60 歳代・女性)

- ・ 産休明け、育休明けに保育園が見つからず休職期間を延ばしている方が実際おられるので何とかならないかと思います。(60 歳代・女性)
- ・ 待機児童の問題：保育園に入園できず、一時預かりを空きで待つ。やむを得ず遠方の保育園に入園したという話を耳にしました。出産を考える際、経済的問題と同時に子どもの預け先があるか、スムーズに職場復帰できるかも大きな問題になるため、早急な対応をお願いします。(40 歳代・女性)
- ・ 市で催しのある子育てに関する事業が、ほぼ平日であり、働いている親は参加機会が少ない。離乳食に関するものなど、参加しようと思っても参加できなかったです。(30 歳代・女性)
- ・ 子どもを産み育てることのサポートを行政が何だと定義しているのだろうと思う。ヒロロ3階で利用している人が増えていると思うが恩恵を受けているのは家庭で子育てをしている人の方ではないだろうか。共働きしている人はその場に出向く回数は少ないのではと思う。共働きの親の子育てがサポートされていないとっていないのでは。(50 歳代・女性)

●子どもの学び 8件

- ・ フレンドシップ事業の対応、対策を積極的に進めてほしい。(60 歳代・男性)
- ・ 教育政策と文化芸術を連動させて「文化資本」が蓄積されるような新しい教育プログラムの確立と実行が不足・不十分と思う。(70 歳以上・男性)
- ・ センスのある大人になるための子ども教育の政策が不十分です。(70 歳以上・男性)
- ・ 小学生に外国語を教える先生の能力向上が必要だと感じる。(70 歳以上・男性)
- ・ 「インクルーシブ」は受け皿になる学校の理解が進んでいない。(60 歳代・男性)
- ・ 子どもの学びの中での分野で、発達障がい支援。発達障がいの悩みを抱えている人が安心して生活し、学習に取り組める環境・支援は、結果的に安定した雇用創出、弘前への定住に繋がると考えるから。(20 歳代・女性)
- ・ 子供たちの健やかな成長のために必要な公的施設が少ないと思われる。例えば図書館の数も少なく、また雪の多い冬期間に身近に体を動かせるような施設数も充分ではないように感じる。それら施設の充実が必要ではないか。(40 歳代・男性)
- ・ 「ひろさき元学の新設」「放課後・子ども教室事業の拠点増加」について。 個人的な情報入手不足だったかもしれませんが、心待ちにしていた二つの事業の成果情報に触れることがなかった。実現の状況など、広報ひろさきや新聞などに取り上げてほしいなと思っています。(70 歳以上・女性)

●生涯学習 1件

- ・ 多様な学びについては疑問に思うところもある。青森県は、東北で唯一楽天の一軍戦が行われたことがなく、さらにJリーグのチームもありません。スポーツに対しての意識が低い地域だと思います。そのためスポーツ推進事業が多く行われることは悪いことではない

と思います。しかし、それ以外の分野でも行うべき学びがあると思います。特に弘前にある文化財を活用した学びが少ないと感じます。ひろさき化学がスタートし、学校教育では郷土への愛着をはぐくむ取り組みがなされています。しかし、子供たちを育てていく大人が郷土を知る事業というのが少ない。郷土への愛着をはぐくむのは子供だけでなく大人にも必要なことだと思います。地域に根差した生涯学習の取り組みを期待します。(20 歳代・女性)

●文化・スポーツ振興 5件

- ・ 広域スポーツ少年団育成事業 経済的・時間的に余裕がある家庭でないと無理かも。(70 歳以上・女性)
- ・ スポーツ少年団については、子供たちがスポーツに親しむ環境を作るというなら、保護者や過度に勝負に傾倒した指導者には警戒が必要かと思う。ある程度の約束事を設定すべき。(40 歳代・男性)
- ・ 野球だけでなく他のスポーツにも力を入れてほしい。(20 歳代・男性)
- ・ 生涯学習の方向性が歴史・文化・スポーツと行儀良すぎる。これらが大事なものは十分承知。もっと単純に楽しめる刺激も必要と思う。Xスポーツ、ロックフェス、ダンス、モータースポーツ etc. 交通アクセスの影響もあると思うが、青森市ではコンサートが多数ある。会場へ向かう人々は着飾り、笑顔で歩いている。弘前にもそういった賑わいが欲しい。(40 歳代・男性)
- ・ プロ野球を誘致すると言った一時的なものに税金を投入するのであれば、もっと永続的に市民に対し利益をもたらすインフラなどに回した方が良いのではないかと思う。(40 歳代・男性)

●その他（ひとづくり全般について不十分と感じること） 6件

- ・ 付加価値を生み出す人材の育成がまだまだ不足に思われます。市民の中にはたくさんいるでしょう。弘前はまだ決定的に不足している。(70 歳以上・男性)
- ・ 良くなっているとは特に感じない。(50 歳代・女性)
- ・ 頑張っているのはわかるが、なかなか成果があがらないと思う。(70 歳以上・女性)
- ・ 不十分かはよくわからない。(50 歳代・男性)
- ・ 暮らしていて、変容を感じない。(20 歳代・女性)
- ・ 持続性が感じられない。(30 歳代・女性)

・・・【この分野で今後さらに期待したいこと、其他要望・提言・アイデアなど】・・・

●婚活支援 4件

- ・ 継続した出愛創出事業を計画的に実行してほしい。(60 歳代・男性)
- ・ 出愛創出事業に興味はあるが、会員登録の敷居が高い。写真を用意し、ヒロロまで行くのがしんどくはある。事務局を訪問する際のプライバシーは保たれているのだろうか。人目が気になる。HP で事務局の様子を掲載しては？(30 歳代・女性)

- 農業後継者の若者はめぐり合う機会が難しいらしく、40代以降の独身者が多い傾向にあると感じるので、効果的な対策を期待したい。（70歳以上・女性）
- 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業 弘前市だけでなく、周りの市町村との連携により、交流が活発になることを期待します。”婚活”を前面に出さなくても気軽に若者が集まれる場を作ってもらいたい。（50歳代・女性）

●子育て支援 15件

～経済的支援について～

- 多子家族学校給食費支援。（70歳以上・女性）
- 保育園に通う園児2人目から無料にする。（70歳以上・男性）
- 子育て分野における所得制限はなくしてほしい。子どもの医療費、教育費などを考えると、子どもに十分な教育を受けさせるためには、莫大な費用が掛かる。貧困家庭への援助と、多子家族をたくさん誕生させるための政策とはきっちり分けてほしい。うちは、子どもがたくさん欲しいけど、医療費、教育費を考えて2人までが限度と考えている。こういう家庭は結構多い。やはり生むからにはしっかりと教育を施したいし…。そして、こういう家庭は市からの援助は漏れる。だから子どもが増えない。てきとうな教育で済ませるなら子ども沢山産んでもそれなりにやっていけるけど…。というわけで、所得制限はなくしてほしい。【補足】貧困家庭への援助としてなら意義がありますが、子育て応援としてやるのであれば、所得制限はなくしてほしいです。所得制限のある市町村には、金持ちは寄り付きません。身もふたもありませんが。先細りの財政になってしまいます。金持ちをより集め、金持ちの人に子どもをたくさん産んでもらい、沢山金を落としてもらうことを考えないと、市の未来は暗いです。（この場合の金持ちは世帯収入1000万円前後の中流家庭）うちは金持ちではありませんが、子どもには良い教育を施してあげ、しっかりと収入を得られるように育ててあげたいので、中途半端な気持ちで子どもをつくることはできません。その上、給付も受けられないので、ますます子作りできません。子どもをたくさん作るには、西目屋村などは制限もなく良い環境だと思います。ぜひお手本にしてください。（30歳代・女性）
- 多子家族の経済的負担軽減の事業は多く見られるが（2人目も支援はいろいろしていただいているが…）、1人や2人で目いっぱい現状で3人目以降の助成事業があってもいいと感じる。子どもの人数が何人でも所得によるものと思うところもあります。多子家族の負担軽減というところでは良いことだが出生率向上については子どもの人数に関係のない助成を作らなければ改善されないのでは？結婚を機に、保育料2人目以降無料化等実施している隣接市町村へ転出している人が知人には多いです。（30歳代・女性）
- 先日地元紙にも記載されていましたが、子どもに対する給付支援の所得制限について、今は高齢出産の方も多いと思います。退職された後も学生を扶養しなくてはならない家庭の負担も考えてあげた方が良くと思います。（50歳代・女性）

～その他（子育て支援について今後さらに期待したいことなど）～

- 子育て世代の意見が最も必要ではないか？（50歳代・男性）
- 共働き家庭の支援。（40歳代・男性）
- 育児は女性がするものという意識は根強くあると思います。イクメン等といった言葉で男性が家事育児をすることが素晴らしいこととするのではなく、夫婦で家事育児を分担する

ことが自然にできるような環境になることを望みます。（30 歳代・女性）

- こども食堂が市内に3カ所で始まっていることを知り、子供にとってほっとできる居場所になるようにまた、その運営もうまく展開するような行政側の暖かい見守りや支援が有るのだろうと感じています。（70 歳以上・女性）
- 共働き家庭のサポートは、多岐にわたると思う。今昔のようなコミュニティが存在しない環境で子育てする人と人がつながりこれからの弘前を担う子どもたちを市民全員で育てていくという意識が必要だと思う。その為、さまざまなポジションの人を繋げていく人材が必要となる。個人同士がどんなに頑張っても限界がある。だからといって行政だけがそれを担うにも限界があると思う。市の担当者の意識にはがっかりさせられる。もちろん、すごいと思う人材も多くは存在するが、今自分かいる課の仕事をもう少し勉強して知識を持った上での対応を希望する。（50 歳代・女性）
- 子育て負担の軽減により尽力してほしい。（30 歳代・男性）
- 数年前のことですが、弘前市の保育料が2人目以降は半額になることを知らずに、預けるのを躊躇されていたお母さんがいらっしゃいました。（当時、1人目は幼稚園だったため、保育園の情報が得られなかったのかもしれませんが…。）情報を受け取る際の意識も変化させることができれば、「知らなかった…」ということが無くなると思います。（30 歳代・女性）
- 結婚、出産しやすい環境が充実していると感じるため、もっと弘前市で暮らしたいと思ってくれる人が増えたらいいなと思います。（20 歳代・女性）
- 弘前市の出生率の低さに愕然としました！婚姻率の低さにもガッカリ！！全く将来の展望が見えない。弘前は意外と暮らしやすく不満のない生活が送れるせいかも…いいのか悪いのか…。（50 歳代・女性）
- 調査してほしいこと 結婚した家庭での子どもの人数は？東京は一人っ子が多くなっているそうです。20代、30代、40代で結婚した場合の子どもの数はどうなっているか。（70 歳以上・男性）

●子どもの学び 8件

- 高校生になっても、自分の考え方や思いどおりにならないと涙を流すという、ひ弱で逞しさがなくなってきた子どもたちが多くなってきているとも言われております。幼児・児童・生徒に対して、困難を克服するための方策、例えば多様な体験活動を取り入れてみてはどうか。（70 歳以上・男性）
- 文化資本の中で身体的文化資本は本物に多く触れさせる以外に方法はないといわれている。子どもたちにとってもっとも必要な身体的文化資本をどう構築し充実させていくかが今大きく問われていると思っています。子どもたちに対する方言「津軽弁」の歴史と文化を伝え生活の中に活かしていく政策を実行して欲しい。何年か先、「津軽弁」の授業がなされるときがきっと来ると思っている一人です。（70 歳以上・男性）
- ひろさき大学新設は良いことだと思うが、学校の限られた時間内での調整のため、既存の時間の割り振りに支障をきたしていると感じた。授業時間を割くのではなく、ホームルーム時間で一日一ネタを伝えるなど継続的に進めてはどうか。（40 歳代・男性）
- いじめについて大きな課題になっていると思いますが、学校・地域が協力できる体制作りが必要だと感じます。（40 歳代・女性）

- 学力と「心」の今後に期待。保護者や地域と一緒に！（60 歳代・男性）
- 英語教育はもっと進めるべきだと思う。（20 歳代・男性）
- 子供の教育に高齢者が気軽に参画できるような仕組みが必要だと思います。現代の子供には高齢者のアナログ的なもの等を学ぶ事が今、特に必要であり、他の市町村との差別化にはもってこいだと思います。（30 歳代・男性）
- 大学の費用を補助してくれたら、子どもが出ていけないと思う。（20 歳代・女性）

●生涯学習 3件

- 生涯学習の充実。（50 歳代・男性）
- 市内の施設に「ミニ図書館」を設置し、身近に本や情報に接する機会を創造するとともに、全てをネットワークで接続し「どこでも借りれて、どこでも返せる」といった利便性の高い図書館が有れば良いと思う。（40 歳代・男性）
- 地域づくり、まちづくり、ひとづくりには、社会教育が重要な任務をもっている。社会教育予算の拡充と、社会教育を担う人材の育成に、積極的に取り組んでほしい。（70 歳以上・男性）

●文化・スポーツ振興 7件

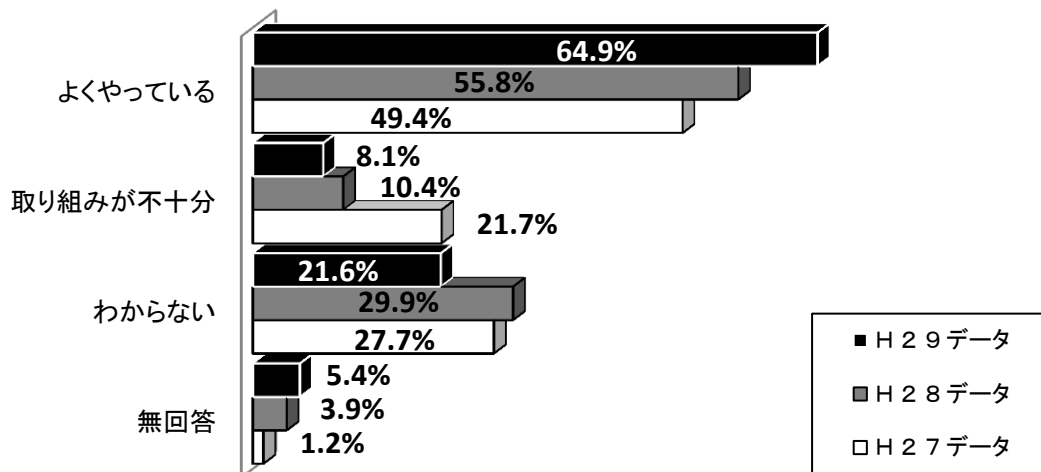
- 郊外地区のスポ少活動について、主催する学校以外の学校の子どもたちが仲間に入りやすい環境づくりを考えて欲しい。例えば、3つの学校の子どもたちが属しているなら、活動場所を3つの学校の持ち回りにするとか。（40 歳代・女性）
- スポーツ少年団の指導者の育成：人手不足のため、指導者の負担が大きくなっています。オリンピック世代の選手育成：子どもたちが様々なスポーツを楽しめる環境づくりと上を目指す選手の育成。プロ野球一軍戦誘致：今回のプロ野球一軍戦開催をきっかけに、今後も野球をはじめ、様々なスポーツを観戦する機会を作ってほしいです。（40 歳代・女性）
- スポーツを通して、心身健全な子どもたちを育むためにも、広域スポーツ少年団活動に対して予算を拡充してもらいたい。また、日本のトップレベルの選手や世界で活躍するアスリートを迎え、触れ合いの場を設けるなどして、大きな夢を与えてもらいたい。（60 歳代・男性）
- 継続的にプロの試合が開催されるといい。（20 歳代・男性）
- 運動公園多目的広場にトイレへの通路を設置してもらいたい。また、公園内トイレの洋式化を進めてもらいたい。（70 歳以上・男性）
- （運動公園の）駐車場問題。（30 歳代・男性）
- 野球場リフォームについて。多額の予算を使ったようだが、維持費や事業計画等、将来的な視野を持った計画なのか大いに疑問である。（60 歳代・男性）

4. 分野別政策 くらしづくり

市民一人ひとりが、健康的で活き活きと暮らすことが出来るよう、保健、医療、福祉の充実を図る。
また、災害に強く、犯罪のない、安全で、安心して暮らせる地域づくりを進める。

「くらしづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「くらしづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は64.9%となっており、平成28年度より9.1ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は8.1%となっており、平成28年度より2.3ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は21.6%となっている。



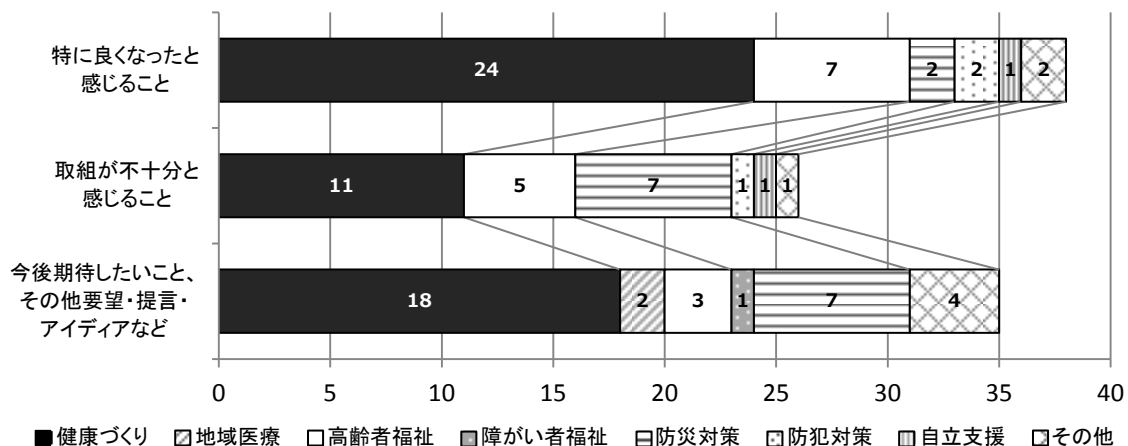
「くらしづくり」の分野における自由意見

「くらしづくり」の分野について「特に良くなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特に良くなったと感じること」については38件の意見があり、分類すると、大腸がん検診無料クーポン事業などのがん対策やいきいき健診など、健康づくりに関する意見が最も多く24件、次いで高齢者健康トレーニング教室の増設など高齢者福祉に関する意見が7件となっている。

「取組が不十分と感じること」については26件の意見があり、分類すると、がん検診の受診率向上や若い世代への検診受診喚起など健康づくりに関する意見が11件と最も多く、次いで自主防災組織結成率の伸び悩みについてなど防災対策に関する意見が7件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど」については35件の意見があり、分類すると、がん検診の受診率向上や食生活改善・食育など健康づくりに関する意見が18件と最も多く、次いで弘前方式の防災まちづくりの提案など防災対策に関する意見が7件となっている。



・・・・・・・・・・ 【この分野で特に良くなったと感じること】 ・・・・・・・・・・

●健康づくり 24件

～がん対策について～

- がん検診受診率向上強化対策事業、高齢者健康トレーニング教室 元気で健康に送れるよう自覚してきていると思う。(70歳以上・女性)
- 原因がハッキリしていることに対する対策「中学生ピロリ菌検査事業」はいいことだと思う。(40歳代・男性)
- 大腸がん検診無料クーポン事業は、やる気のなかった人にも診察を促せるのでよい取り組みだと思う。(20歳代・女性)
- 大腸がん検診無料クーポン事業 私たちの親の世代が丁度対象で、やはりお金がなくて受けられない人も多いと思うので、無料で検査ができるということはとてもありがたいことだと思います。(20歳代・女性)
- 大腸がん検診無料クーポン事業は良いと思う。検診に行くきっかけになりそう。(20歳代・女性)
- 特に健康に関しての主な事業が良いと感じた。がんの予防としては検診が大事だが、面倒と感じてしまったら行かない人もいるけど、私なら検診+クオカードももらえるなら絶対行くと思う。(20歳代・女性)
- 新規で大腸がん検診無料クーポン事業が弘前市として復活したこと。(40歳代・男性)
- 中学生ピロリ菌検査事業、大腸がん検診無料クーポン事業・早期治療支援事業は市民のがん早期発見・早期治療への意欲や市の医療費負担軽減にもつながるのでとても良い事業だと思っています。(70歳以上・女性)
- がん検診受診率向上事業 家族でがんが発生し、10年以上現在も治療に苦しんでいる現実とずっと寄り添い戦ってきたため、がんはとにかく早期発見が1番と痛感しているので！とにかくまず検診に足を向けさせることが1番必要だから。(40歳代・女性)

～いきいき健診事業、健康増進プロジェクト事業、弘前市健康づくりサポーター制度～

- 健診とサポーター (60歳代・男性)

- いきいき健診事業や健康増進プロジェクト事業はとても良い。継続は力なりである。(60 歳代・男性)
- 健康づくりサポーター制度導入。名前だけ・町会長に頼まれたからではなく、実績を積み重ね、地域住民に浸透・定着できることを期待する。(70 歳以上・男性)
- いきいき健診事業 健診・健康に対する意識がUP (70 歳以上・女性)
- 町会集会所での活動が増えている。一人暮らしの方の食事会や健幸サポートを毎月行っている。(50 歳代・男性)
- 健康づくりサポーターの研修の結果が私達一般市民、個人が感じられるようになるのはいつなのか。サポーターのひとりよがりとの声もある。(70 歳以上・女性)
- よくやっている。8月に結果が出るとのこと期待している。(70 歳以上・男性)
- 市の健康増進プログラムは、積極的かつ多角的に行われており、マスコミなどでも取り上げられ評価できます。(60 歳代・男性)
- 健康チェックなどのイベントをよく見かけるので続けてほしい。(20 歳代・男性)
- 弘前健幸増進リーダー育成など、知識や情報を広く市民に伝達できる体制づくりにより、多くの市民が健康などについて意識するようになったと思う。(40 歳代・男性)
- いきいき健診事業に参加しました。10年間継続の健診内容も多岐にわたるので健康管理のために大変有り難いことと思っています。市民の間でも大変好評ですし、他市町村の方から羨ましがられています。(70 歳以上・女性)
- 健康に対する取り組み 弘前大学との連携によるいきいき健診事業や健康増進プロジェクト推進事業は大変健康寿命の向上につながっていると思います。また、健康づくりサポーター制度によって、市民の健康意識の向上につながっていると思います。(50 歳代・女性)
- 「健康」に対する政策はすごく広範囲に実施しております。(70 歳以上・男性)
- 県をあげて健康プロジェクトの取り組みが行われていて、大変良いと思う。広報でも無料の体操教室等の案内があり素晴らしいと思う。できれば継続してほしい。(50 歳代・女性)
- 健康に関心を持つ方が増えてきた。子どもたちも肥満を解消しようと歩いたり、おやつのパテトチップスを少なくしたというような会話をしたりするようになってきた。小学校でたばこや肥満などについての取り組みが行われているのはとてもいいことです。(60 歳代・女性)

●高齢者福祉 7件

- 高齢者健康トレーニング教室などが増え、運動する機会も増えている。(30 歳代・女性)
- 高齢者福祉の充実のためにトレーニング教室などいろいろ取り組んでいるのは良い。(60 歳代・男性)
- 高齢者の健康増進施策がどんどん増えているように思う。(40 歳代・女性)
- 高齢者健康トレーニング教室；健康増進と同時に憩いの場としても、重要な役割を果たしていると思います。ロマンピアでは送迎もあると聞きました。参加者にとっては助かると思います。(40 歳代・女性)
- 新規事業の「高齢者ふれあい居場所づくり事業」に期待している。老人ホーム等以外で元

気な高齢者たちが交流できる場があれば良いと思ったため。(30 歳代・女性)

- ・ 高齢者対象の体操教室やヒロロやロマンピア、温水プール石川でマシンをつかった運動教室に行くことによって、自分の健康に関心を持つようになると思う。(50 歳代・女性)
- ・ (高齢者ふれあい居場所づくり事業について) 高齢者の交流の場づくり、そして空き家の 2つの問題を一気に解決したのはとても良い発想だと思った。(20 歳代・女性)

●防災対策 2件

- ・ 災害についての意識が強くなった。(30 歳代・女性)
- ・ 災害対策等は良く頑張っていると思う。健康づくりの分野でも力を入れていると感じる。(30 歳代・男性)

●防犯対策 2件

- ・ LED 防犯灯整備管理事業。電球切れの問題も解消され明るくなっており、防犯対策となっている。(30 歳代・男性)
- ・ LED に切り替えしたことにより防犯灯の故障がなくなった。(70 歳以上・男性)

●自立支援 1件

- ・ 福祉分野はよくなったと感じます。高齢者や障がい者を介護するだけでなくどのように自立させるかというのが取り組むべき課題だと思います。そういう意味では、高齢者の居場所づくりや就労支援などはいいい取り組みだと思います。(20 歳代・女性)

●その他(くらしづくり全般について良くなったと感じること) 2件

- ・ 福祉全般的に良くなってきていると思う。特に高齢者、障がい者。(60 歳代・女性)
- ・ 政策と方向性には期待している。新規のものはまだ見守ることが必要かも?(70 歳以上・女性)

.....【この分野で取組が不十分と感じること】.....

●健康づくり 11件

～がん対策について～

- ・ 大腸がん検診無料クーポン事業。45～49 歳の未受診者約 9,600 人、事業費 880 千円で、単価が安いと思います。どのような検査を行うのか説明が不十分です。(50 歳代・女性)
- ・ がん検診の受診率向上です。つい先日、近所のおじちゃんが大腸がんで亡くなりました。健康診断なんか面倒だと言って受診せず、体調が悪くなった時にはすでにがんだったそうです。私の近所はりんご農家が多く、検診の習慣が低いようです。市は無料のがん検診も実施しているし受診しないのは自己責任といえればそれまでなのですが、サラリーマンのような半ば強制的に受診できる環境と比べるとなかなか難しいのかなとも感じます。(40 歳代・女性)

- 健康分野に関する、市と企業・学校との連携。がん検診受診率向上強化対策事業、中学生ピロリ菌検査事業、大腸がん無料クーポン事業もいける人への事業であるが、忙しくて行けない人への支援や配慮もあってほしいため、市と企業・学校で連携をとるべきだと考えるから。（20 歳代・女性）
- がんになるのは 40 代以上とは限らないので、社会人（22 歳以上）から検診を受けるように呼びかけ等する必要があるのでは？（20 歳代・女性）

～その他（健康づくりについて不十分と感じること）～

- 健康づくりサポーター制度 研修会に参加したサポーターで活動していない人もいる。（70 歳以上・女性）
- 一人一人に対する医療費がかからないようにする政策は意外と少ないように思えてなりません。あまりにも病気にかかった後に対する政策が多いように思っている一人です。（70 歳以上・男性）
- 健康イベントに関することをニュースを見るまで知らなかったこと（自分の情報収集が足りなかったかもしれないが）。（20 歳代・男性）
- 5 年前から弘前に移住し最も強く感じたことは、食事の塩分の多さやバランスの悪さであり、近年特に意識されている「食育」の面からも、人間の体を構成する上で最も重要な食に関する取組が不十分を感じる。（40 歳代・男性）
- 若い世代への検診の受診喚起は少ないように感じる。（30 歳代・女性）
- 健診なども大事だと思いますが、もっと運動（スポーツ）を促すような取組みが必要でないでしょうか。（30 歳代・男性）
- 弘前市健康づくりサポーター制度。「健康づくりサポーター」と「ひろさき健幸増進リーダー」の活動がよくわからないので、もっと説明してほしい。お揃いの T シャツを着てイベントにいますが、町内会でも活動してほしい。（50 歳代・女性）

●高齢者福祉 5 件

- 高齢者健康トレーニング教室について 限られた地域の市民しか利用できないのか疑問に思います。巡回教室や送迎はあるのでしょうか。（40 歳代・女性）
- 高齢者ふれあい居場所づくり事業費補助金についての実施状況はどのようになっているのかあまり知る機会がなかったので、報道があれば良いなと感じています。（70 歳以上・女性）
- 高齢者には研修等を行うのではなく、町内の美化や子供の見守りなど出来ることをやってもらう方が良いと思います。（30 歳代・男性）
- 福祉 高齢化が進む中で、いろいろな支援事業が行われていると思いますがやはり特養への入居が難しく困っている方がたくさんいると思います。（50 歳代・女性）
- 核家族のため、高齢者対策などあまり目に触れることもないので、よくわかりません。（30 歳代・女性）

●防災対策 7件

- 自主防災組織に対する経費の助成。（70 歳以上・男性）
- 防災に関する教育の充実と共に経費への補助の充実を望みたい。（60 歳代・女性）
- 自主防災組織が平川市では90%以上の世帯で組織されているが、弘前では少ないという内容のことをテレビで放映していましたが、やはり急な時は身近な人たち同士で協力し合えるような組織は必要だと感じます。（60 歳代・女性）
- 自主防災組織の結成率が伸びないのはいかなる原因があるのでは？（例：提出書類が難しい、経費の補助等）（70 歳以上・男性）
- 防災については認識が甘いと感じます。弘前は地震の被害も過去あまりありません。そのため行政側はともかく市民側の防災意識は低いと思います。自助・共助の為に防災マイスター育成講座をおこなっていますが、そのあとそれが地域の防災に活かされているのでしょうか。自主防災組織の組織率はそれほど高くないと記憶しています。いつ災害が起こるかわからないですから、自助・共助の意識を高めるためには、自主防災組織の育成は急務だと思います。（20 歳代・女性）
- 防災まちづくり推進事業。弘前は大きな地震や台風被害も少なく、市民の防災意識が希薄で、災害に備えるという気質がない。そこを改善していかなければならないと思います。（30 歳代・男性）
- （防災について）現実的な成果が分かりづらい。（30 歳代・女性）

●防犯対策 1件

- 児童等への声掛け接触等が多くなってきていて、防犯灯整備の他にも町内・地区等での人の目での協力が必要かなと。そのための支援の拡充。（30 歳代・女性）

●自立支援 1件

- TV で生活困窮者に対しての生活支援金について問題になっていました。基準査定について見直して取り組むべき。必要とする人が得られないようなことがないように。（20 歳代・女性）

●その他（くらしづくり全般について不十分と感じること） 1件

- 保健、医療、福祉が手を携えてこそ十分なことが出来るのでは。今はどの分野も上からその個人の能力以下の扱いをする対応が多いのではと思う。それでは人生のプライドを持って生きてきた人たちに対してどうかと思う。（50 歳代・女性）

・・・【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど】・・・

●健康づくり 18件

～がん対策について～

- ・ 中学生ピロリ菌検査事業。（70 歳以上・女性）
- ・ がん検診の受診対象はなぜ 40 歳以上なのか（クオカードの件）。30 代でも 20 代でも希望者には受診させてはどうか？（30 歳代・女性）
- ・ がん検診受診率、特定健診受診率の向上に期待したい。（40 歳代・男性）
- ・ 肺がんは男性では死亡原因の一位であり、女性は二位となっています。青森県では喫煙率が高いです。喫煙や受動喫煙は扁平上皮がん小細胞がんのリスクとなるため、喫煙に興味を持つ前の未成年時に教育をしてほしいです。ほかにも、生活習慣による疾患に対する一次予防の呼びかけを若年者に対しても積極的に行ってほしいと思います。（30 歳代・女性）
- ・ がん検診受診率、良くなっているのですが、更なる受診率を UP してほしい。（40 歳代・女性）

～食生活改善・食育について～

- ・ 食べ物、飲み物を見直しするときに来ていますよ！学校給食の牛乳、肉、袋菓子など全然手をつけていないのではないかな。この基本中の基本を見直しせず何が健康ですか、医療対策ですか。このままでは病人、医療費が増大していくだけでしょう。食べ物、飲み物に対する再考を期待します。（70 歳以上・男性）
- ・ 農産品だけでの地産地消だけではもう限界と思う。消費社会・成熟社会の中では自分たちで創り・楽しみ・消費する「ソフトの地産地消」の時代に入っていると思う。行政からの仕掛けや応援を期待する。（70 歳以上・男性）
- ・ 食習慣に関しては、幼い時点で何を口にしかたで一生習慣が変わらない事が多いため、幼稚園や小学校からの食育に関する栄養教室や料理教室を実施するとともに、母親となる妊婦に対しては離乳食及び健やか成長食の教室の実施、また老人世帯に対しては配食サービスへの補助等、今までの食習慣を改善する施策が必要だと思われる。（40 歳代・男性）
- ・ 健康に過ごすために食生活にも気を付けたいと考えています。現在の生活が理想の生活とどれくらい差があるのかを知りたいと思っています。チェックシートなどあれば活用したいです。（30 歳代・女性）

～その他（健康づくりについて今後さらに期待したいことなど）～

- ・ 弘前市の平均寿命がもう少し高くなるまで、無料の体操教室等継続して実施してほしい。運動した人、検診を受けた人に「健康ポイント」を与えて商品券等に交換して利用することで健康増進と医療費削減や商品券による経済波及効果の出ている自治体もあるようです。実際の導入は難しいと思いますが、面白い取組みだと思います。（50 歳代・女性）
- ・ 岩木地区と弘前大学病院が長年取り組んでいる定期健診のように、自分が検診することが役に立つという意識がわかればさらに受診率が上がるのかなとも思います。（40 歳代・女性）
- ・ 新規事業によりこころと体の健康づくりに期待。（70 歳以上・女性）

- 健康診断受診率向上のため、保健師・保健衛生委員・健康づくりサポーター等が一体となって、受診するのを待つのではなく、家庭訪問等積極的に実施してみてもどうか。（70歳以上・男性）
- （町会集会所での）活動は増えているが町会でサポートする方、後任者が不足している。（50歳代・男性）
- 大学と連携して、寿命がより全国平均に近づくこと。（20歳代・男性）
- 健康は一生のものであるから、子どもを対象とした健康教養の事業を充実させても良いのでは。（20歳代・女性）
- 若い人、高齢者に関わらず健康は何よりの財産であり基盤です。そのための支援は特に重要事項だと思います。（50歳代・女性）
- 将来的な健康度向上、維持のため、働き盛り世代に対する今以上の健診助成や無料のトレーニング教室の開校を望む。トレーニング教室は仕事が終わった後、午後8時以降にお願いしたい。（40歳代・女性）

●地域医療 2件

- 弘前市急患診療所の院外処方について…急患診療所に係っている職員の方・医師や看護師の方、ご苦労様です。診療が終わり、お薬を調剤薬局まで取りに行くのですが、市立病院裏までなのです。診療所近くにできないものかと思います。（50歳代・女性）
- 新中核病院について 2017年3月1日付の新聞に市職員の発言された内容が載っていました。新中核病院の機能についてほぼ決まっていたのにどうしてあのような発言されたのか不信感を覚えました。2020年4月稼働で進んでいるのではないのでしょうか。（60歳代・女性）

●高齢者福祉 3件

- 「高齢者ふれあい居場所づくり…」では、「居場所」までの移動手段も考慮して欲しい。（40歳代・女性）
- 高齢者の居場所づくりと同時に、世代を越えた交流の場があるといいと思います。町会では、夏まつりがその機会になるよう、いかに人を集めるか、検討中です。（40歳代・女性）
- 高齢者の健康増進に関する支援事業が多くとても良いことだと思います。今後も市全体に波及するようにしてもらいたい。（60歳代・男性）

●障がい者福祉 1件

- 障がい者就労支援はもっと拡充すべき。施設・学校で得たスキルを直接活かせることが少ないと聞いた。（40歳代・男性）

●防災対策 7件

- 防災まちづくりのための簡単にできる弘前方式のような方法を考えてもよいのでは。手軽にできる防災対策の取組み。(60 歳代・男性)
- 安心して暮らせる地域づくり(災害)(50 歳代・男性)
- 親子での防災、避難訓練、赤ちゃんがいる家庭や高齢者、障がい者などのいる家庭に向けた訓練をしっかりとしてほしい。(30 歳代・女性)
- Jアラートについてよくわからない人が多いと思います。携帯電話やスマートフォンの設定方法などを知らせ、多くの人が災害時などに活用できるようになると良いと思います。(30 歳代・女性)
- 自主防災組織等育成支援事業関連について。防災ハンドブック最新版の戸配布が大変有り難く、身近において開いてみえています。自然災害は比較的少ない弘前ですが、地域ごとの防災体験などこれまでなかったので、今後有ればぜひ参加したいと思っています。(70 歳以上・女性)
- (防災について)このまま続けていくこと。(30 歳代・女性)
- 自主防災組織の発展を期待します。様々な面で地域の中心になるような形が望ましいと思います。基本的に町内会の延長だと思いますが、より多くの人が参画しやすい形が作れば良いと思います。(30 歳代・男性)

●その他(くらしづくり全般について今後さらに期待したいことなど) 4件

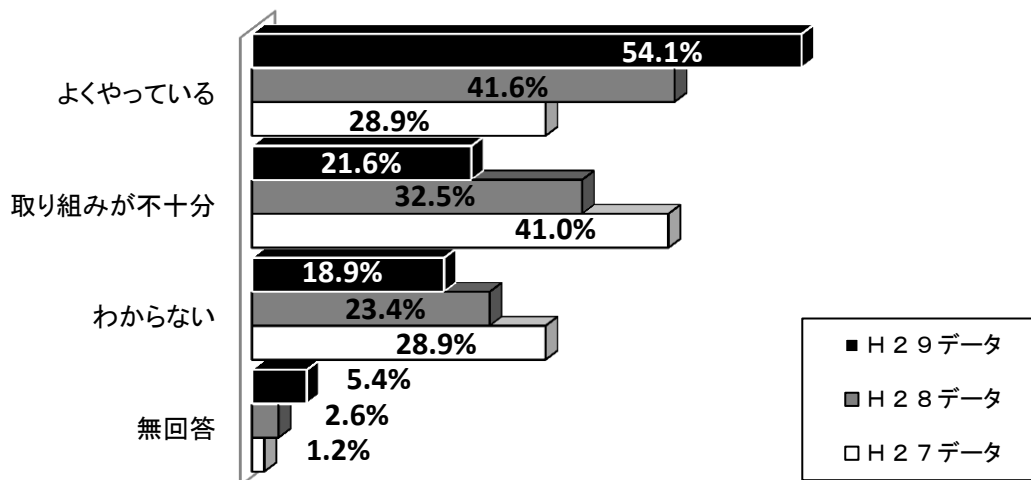
- 観光分野に力を注ぐのも良いと思うが、医療・福祉にもっと予算をおろしてほしい。地域包括支援センターなどにもっと予算をおろすことで認知症予防になったり、みんながもっと元気に暮らせるのでは？(20 歳代・女性)
- 福祉や介護について説明を受けにきた来訪者に、市担当職員が丁寧に対応していない、という事を耳にする。窓口の職員に専門的知識がないこともあるという。ベテランと新人を組み合わせた人事配置が必要ではないか。窓口は市のイメージの根幹である。(70 歳以上・男性)
- 弱い立場(老人や低所得者)に優しい弘前市であってほしい。(特に生活面経済的な事)(40 歳代・女性)
- 学校にレベルがあるように、その人の人生にもレベルがあると思うが、そのレベルに合った選択肢があってこそ利用している人は充実していると思うのではないかと思う。(50 歳代・女性)

5. 分野別政策 まちづくり

市民生活に大きな影響を与える冬季の雪への対策のほか、美観等を考慮した住環境の整備や多くの役割を果たす公園の整備、道路網や上下水道の整備など、都市基盤の充実を図る。また、循環型社会の形成を目指し、エネルギーや環境に対する取組を行う。

「まちづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「まちづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は54.1%となっており、平成28年度より12.7ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は21.6%となっており、平成28年度より10.9ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は18.9%となっている。



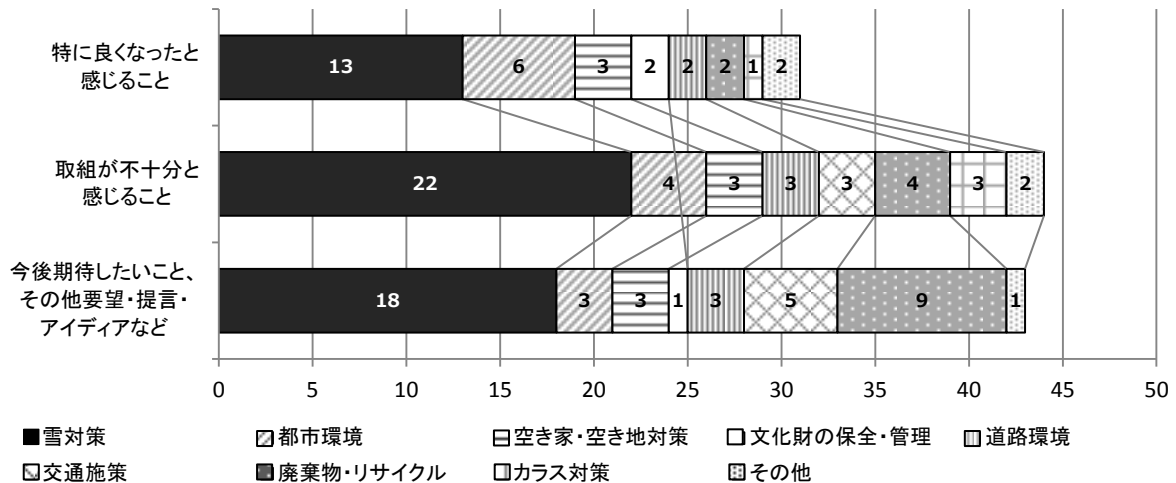
「まちづくり」の分野における自由意見

「まちづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特によくなったと感じること」については31件の意見があり、分類すると、除雪が年々良くなってきていることや融雪設備など雪対策に関する意見が13件、次いで弘前公園さくら研究・育成事業についてなど都市環境に関する意見が6件となっている。

「取組が不十分と感じること」については44件の意見があり、分類すると、除雪が不十分、歩道が確保されていない、消流雪溝の不足など、雪対策に関する意見が22件となっている。次いで、都市環境に関する意見と廃棄物・リサイクルに関する意見がそれぞれ4件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど」については43件の意見があり、分類すると、消流雪溝の拡充など雪対策に関する意見が最も多く18件、次いでごみの有料化に関する意見など廃棄物・リサイクルに関する意見が9件となっている。



・・・・・・・・・・ 【この分野で特に良くなったと感じること】 ・・・・・・・・・・

●雪対策 13件

～除排雪～

- 雪対策は頑張っていると思います。近年は弘前も多く雪が降ることがあり、対応に苦慮していると思います。限られた予算の中でも頑張っていると思います。未だに狭い路地などでは除雪は不十分ですが、大きい通りは通りやすくなってきたと感じています。（20 歳代・女性）
- 市直営除雪隊については、作業が丁寧だと思う。（30 歳代・男性）
- きめ細やかな除雪。（70 歳以上・男性）
- 除雪は以前に比べよくなったと感じる。道路の整備も進んだように感じる。（20 歳代・男性）
- 除雪は年々良くなっていると感じます。（20 歳代・女性）

～融雪・流雪溝～

- 住宅街小路の融雪対策事業。生活に余裕が生まれる。もっと拡大してほしい。（70 歳以上・男性）
- 近所で道幅の狭い区間に地下から散水融雪が導入された。（50 歳代・女性）
- 坂道にロードヒーティングを導入したことで冬でも安全に通学できるようになった。（20 歳代・男性）

～その他（雪対策）～

- 町会雪置き場事業：空き地を雪置き場として有効活用することは地域の人は大変助かると思います。減免があれば、空き地を提供してくれる方も増えるのではないのでしょうか。（40 歳代・女性）

- 雪対策→いろいろな事業に取り組んでいると思う。(60 歳代・女性)
- 雪害対策は年々充実してきています。(70 歳以上・男性)
- 雪対策。(60 歳代・男性)
- 今回、冬を越してみても雪の対策が良くされていたと感じています。学校への登下校でもそれほど心配する必要もなかったです。(30 歳代・女性)

●都市環境 6件

- 岩木川の河川整備も終了し、整備が進んでいて良いと思います。(30 歳代・女性)
- 弘前公園の整備は素晴らしい。職員がよく頑張っている。(60 歳代・男性)
- 弘前城、弘前公園、各建築物の整備。(50 歳代・男性)
- 弘前公園さくら研究・育成事業について、今年の桜まつり期間中の観光客は 251 万人という過去最高だったように、弘前のさくらの素晴らしさは来客者の心に感動と再訪の想いを刻んでいることと思います。観光客の方々に喜んでもらえるような主役桜のためにバックヤードでの数々の工夫や努力、そして今年は 100 年記念の祭りを盛り上げるための様々な仕掛けにも、じょうぱり魂を活かした担当者の熱意と努力の賜だったのではーというのが友人達との一致した感想でした。ほんとうに素晴らしい弘前の誇りだと思います。(70 歳以上・女性)
- 弘前公園さくら研究・育成事業 さくらの延命策の共同研究、遅咲き品種の鉢植えの制作などは、弘前ならではの、さらに拡大していくべき事業だと思います。(50 歳代・女性)
- さくら研究、期待したい。(20 歳代・女性)

●空き家・空き地対策 3件

- 空き家、空き地の利活用事業。空き家、空き地購入に対する補助金の加算・拡充。(70 歳以上・女性)
- 空き家は私も市内の道を歩いていて気になっていたもので、その利用事業に取り組んだのはとても良いと思う。(20 歳代・女性)
- 空き家、空き地の利活用事業が拡充されたこと。弘前の活性化につながるから。(20 歳代・女性)

●文化財の保全・管理 2件

- 武家屋敷通りなどとてもきれいになり、良かったと思う。(30 歳代・女性)
- インバウンドが増える中、多言語表示の案内板をよく見、海外の方をよく見るのはこの取り組みのおかげだと思う。(20 歳代・男性)

●道路環境 2件

- ・ 泉野から千年へ向かうコンビニ付近の道路を整備してから車の流れが良くなりスムーズに通れるようになりました！ありがとうございます。（20 歳代・女性）
- ・ 路線バスの公共交通機関や道路の舗装、道の狭さ、暗さはたくさんまだ改善するところがあると思います。（20 歳代・女性）

●廃棄物・リサイクル 2件

- ・ ごみ集積ボックス設置費補助事業は町会で利用した。元ある1個に追加で設置。おかげで集積所にあふれるごみがなくなり、景観もよくなった。（30 歳代・女性）
- ・ 廃棄物施策に関して、小型家電や衣類の回収ボックスの設置や、商業施設と協力したリサイクルボックスの設置等、リサイクルに対する関心を喚起する施策をとっている。（40 歳代・男性）

●カラス対策 1件

- ・ 平成 28 年度は平成 27 年度に比べて非常にカラスが少なかったように感じます。冬の登下校の際もずらっとカラスが並んでいるということが少なく、ふんの被害もなく、安心して生活できました。（20 歳代・女性）

●その他（まちづくり全般について良くなったと感じること） 2件

- ・ 雪対策、ごみの減量、分別、文化財などに関しては取り組みがわかりやすく良くなったと思います。（60 歳代・女性）
- ・ まちづくりに関する市の取り組みは、積極的に行われていると思います。市民の要望に耳を傾け、順次取り組んでいることがわかります。（60 歳代・男性）

・・・・・・・・・・ 【この分野で取組が不十分と感じること】 ・・・・・・・・・・

●雪対策 22件

～除排雪全般～

- ・ 除雪業者は一定レベル以上の内容で仕事するよう徹底して指導していただきたい。（40 歳代・男性）
- ・ 除排雪が不十分。（40 歳代・女性）
- ・ 雪国の住民にとり、半年間を過ごす冬の雪対策は最大の関心事である。一般道、生活道を含め、除排雪作業はおよそ進歩のないものである。こまめにロータリー車で道の拡幅に取り組みほうが費用もかからないと耳にしたことがある。担当部署で、慣例にとらわれず、取り組んでほしい。（70 歳以上・男性）
- ・ 除排雪が地域・町内によってバラつきがある。（40 歳代・男性）

- 除雪に関してですが、細目に除雪する所と、しない所の差が激しいように思えます。まんべんなくやれるように、工夫をして計画するべきかと思います。（30 歳代・女性）
- 住宅地なので仕方ないのですが、除雪だけでなく排雪をもう少しやってもらいたい。通学路なので朝はハラハラしながら見えています。（50 歳代・女性）
- 業者委託分について、クオリティに大きな差がみられる。（30 歳代・男性）
- 冬の対策はその地域を担当する業者によって大きく違ってくると思う。ある程度は仕方ないと思うが、その雪の片づけ方によりその地域の人々が迷惑をしているとしたら（それが市職員では腹が立つ）モラルの問題だが頭だけでモラルのない人間を行政がどう指導するか。（50 歳代・女性）
- 取組みが不十分。町会雪置き場事業で多少は雪置き場としてあるが、まだ不完全で現在雪置き場を雑に利用している。（70 歳以上・男性）

～歩道の除雪～

- 学校のそばなので他よりは除雪されていると思うが歩道の方があふなくて車道の方を歩きたくなる。歩道にもスムーズに入れない。老人は外出できなくなり、ひきこもり、運動不足、他とのコミュニケーションもとりにくくなる。買い物にも行けない。（70 歳以上・女性）
- 通学路の除排雪：小学生が車道を歩いたり、歩道の山になった雪の上を歩いている姿を見かけます。（40 歳代・女性）
- 除雪は、道路だけだと、歩行者が道路を歩くしかなくなり、渋滞になったりして危ない。だから、歩道にも除雪が必要だと感じた。（20 歳代・男性）
- 除雪によって車道と歩道の間に壁ができ歩行者が確認できず、危険を感じることがあります。（30 歳代・女性）
- 例年通り、雪は除雪機の残した雪のために歩道はせまく、歩行者は危険。（20 歳代・女性）

～融雪・流雪溝～

- 雪への対策が不十分に感じる。例えば、融雪剤を散布するのは良いのだが、通学路等で雪が砂状になってしまい歩行する生徒らが足をとられるケースが多々あり危険なため、先ず除雪ありきでその上で凍結防止の為融雪剤の散布を行う方がよいのではと思う。（40 歳代・男性）
- （散水融雪を）設置する地域や優先順位がわからない。（50 歳代・女性）

～間口除雪・除雪困難者の支援～

- 毎年のことだが、冬季雪対策は何も変わらない気がします。どうしようもないと分かりつつ排雪、除雪のブルドーザーの後の、家の前に山積みになった雪のかたまりにはうんざりする！！（40 歳代・女性）
- 「自宅前、車庫前は融雪工事で雪はないが、除雪車が隣の雪を全て置いていく。」という苦情を聞いている。車道は、きれいに除雪するが、歩道は雑と思う。マンホール部分のみが融雪となり凹状態になっている。子どもはピョンと飛び越えるが年寄りには車道を歩くしかない。（70 歳以上・女性）

- 除雪車が通った後の雪のかたまりの処理は大変。ご年配の方は特に大変だと思う。（20 歳代・女性）
- 間口に置かれた除雪の処理。市民各自の判断とは思いますが、自宅内（駐車場等）の除雪はきれいにするが、その雪をすべて道路や道路わきへ捨てている人が随分見られます。市民への注意喚起をもっとすべきではないでしょうか。（50 歳代・男性）
- 雪対策、一人暮らしや高齢世帯が増えてきているのに改善が見られない。（50 歳代・男性）
- 雪弱者と支援事業（60 歳代・男性）

●都市環境 4件

- 個人住宅で、一般道に面したところの生け垣が、生活道路・通学路にはみ出しており、通行の妨げとなっている。また、冬期間に道路に落雪している場所の改善を望みたい。（70 歳以上・男性）
- 近年、水田がかなり減少していると思います。水田を守れないでしょうか。街、水田、りんご畑が弘前の基本的な風景、景色ではないでしょうか。岩木山、桜、お城だけが弘前ではありません。（30 歳代・男性）
- 弘前公園の中の看板、中国語とか韓国語のハングル文字が、いわゆる英語でいうところのローマ字で書いてある。School ではなく gakkou 的に！ハングル文字を習ってる日本人は読めるか韓国人は？（50 歳代・男性）
- 美術館がどうしてないのでしょうか。不思議としか思えてなりません。子どもたちはもちろん私達大人にとっても文化・歴史を醸成させてくれるものなのに、弘前らしくないなあ。（70 歳以上・男性）

●空き家・空き地対策 3件

- ふだんの会話の中でも聞かれますが空き家は増えている傾向にありますので何とか対策をお願いしたいです。（60 歳代・女性）
- 空き家は今後もますます多くなる傾向にある。当町会にも5世帯の空き家があるがまったく手つかずである。（70 歳以上・男性）
- 空き地、空き家の利活用事業について、いろいろな障害や規制もあって、ハードル超えが難しいことと思われますが、市民力を生かせるような、モデル事業的なイベント企画募集はどうでしょうか。（70 歳以上・女性）

●道路環境 3件

- 年度末に仲町の辺りの道路工事？水道管工事？が毎年やっている感じがする。よく通行止めになったり道がガタガタなのがとても不便と思った。（20 歳代・女性）
- 武家屋敷通り周辺の同じような道で整備されていない所が夜すごく暗く、逆に整備されていないのが目立つようになってました。（30 歳代・女性）

- ひとつづくり、まちづくり、くらしづくり。関係者の方々の頑張りで観光客も増加し生活もしやすくなっていると思いますが、近場を見ると、町内の側溝の整備が予算の都合でなかなか施行されず、昨年やっと始まったと思ったら途中までで水は流れずそのままです。そこから先も予算のメドが…という事で、予算と言われれば何も言えなくなる市民です。側溝等はたいしたことではないと思っていないと思いますが…。よろしくお願いします。（70 歳以上・女性）

●交通施策 3件

- 五能線が不便で困っています。本数が少なく子どもの部活でいつも送り迎えです。（50 歳代・男性）
- 安全・安心という点では、高齢者の自動車運転も問題になる。免許返納に意識が行くよう、公共交通機関を安く・便利に使えるよう整備が必要と思う。（40 歳代・男性）
- 市民の交通に関する意識、教習所等で習ったことを守れていないし、このままでは事故が多発してしまう。自転車に乗る人も多いので、マナーは向上して欲しい。（20 歳代・男性）

●廃棄物・リサイクル 4件

- 「ごみ」問題。年間（年次）計画を立てて、一つずつクリアできる様にしていける必要がある。（カラスにしても集積所にしても）（60 歳代・男性）
- ごみ対策→ごみ集積ボックスの設置を十分にしてほしい。経費の補助も。（60 歳代・女性）
- ごみ集積所でのカラスの食い荒らし対策として、町内会への周知徹底をお願いしたいと思います。（50 歳代・女性）
- 環境問題について。弘前が取り組み不十分ってことはないのですが、やはり広報不足というか知らない人が多いのは課題だと感じます。（20 歳代・女性）

●カラス対策 3件

- カラス対策。増える一方で、ゴミ出しも大変です。また、弘前公園周辺を歩いているとカラスのフンが上から落ちてくる現状。におい等もすごいです。（30 歳代・女性）
- カラスは変化は感じません。（20 歳代・女性）
- カラスで道路に“糞の帯状”の形ができ、異臭がひどい!!（70 歳以上・女性）

●その他（まちづくり全般について不十分と感じること） 2件

- 取り組みの成果がなかなか感じられません。（30 歳代・男性）
- 地域によって環境整備、除排雪の差がありすぎる。（40 歳代・男性）

・・・【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど】・・・

●雪対策 18件

～除排雪～

- ・ 消流雪整備などのない、できない地域での除排雪の一工夫が必要。お願いごとの5分の1でもすぐ対応できる道路維持部門の新設など。(60歳代・男性)
- ・ 通学路対策について、児童生徒の安全を確保するのなら、冬の歩道除雪についても積極的に対処してほしい。(40歳代・女性)
- ・ 前回のモニター回答まとめを見たが、除雪に地域格差がある旨、大いに同意できる。市道と幹線道路の除雪の格差もひどい。特に今年は新人さんが入ったのか、雪が消えてから家の周りが壊れているところがあり、驚いた。苦情を上げるにも時すでに遅しで泣き寝入りするしかない。対策を…と願うがそもそもどうしてもらえばいいのかわからない。(30歳代・女性)
- ・ 大きい道路の除排雪は丁寧ですが、路地の除排雪は丁寧とは言い難い。冬場の生活道路の確保は、一番力を入れてほしい。今の状態は、子供や高齢者にやさしくない。(40歳代・女性)
- ・ 業者の入札の時、選考の際に住民の意見も考えてほしい。(30歳代・男性)
- ・ 雪対策 予算等も考慮しなくてはならないので、必要な場所の除排雪を見極めることが必要だと思います。積雪があまりない場所での除雪も見受けられます。(50歳代・女性)
- ・ 除雪機械のサイドシャッターをより多くにして残雪を減らしてほしい。(40歳代・女性)
- ・ 地域の高齢化が進む中では除雪では全く理解が得られない。排雪に多くの予算を投入すべき。地域の公園を雪捨て場として開放すべき。(50歳代・女性)
- ・ 業者がやった後を行政が車でまわっているがそれでは不十分。その後住民がどのように雪片付けしているかまで見てこそ、その地域の問題点や良い対策ができるのではと思う。(50歳代・女性)

～融雪・流雪溝～

- ・ 歩道(通学路)早朝から除雪しているが、ロードヒーティングに改善できないものか?(70歳以上・女性)
- ・ 消流雪溝の整備を加速してほしい。(70歳以上・男性)
- ・ 地下水を個人で利用している世帯への補助又有効活用ができないか。(50歳代・男性)
- ・ 消流雪溝整備事業。全世帯に流雪溝の設置を願いたい。(30歳代・男性)

～間口除雪・除雪困難者の支援～

- ・ 雪弱者(生活弱者)対策。(60歳代・男性)
- ・ ひとり暮らしの高齢者のための排雪支援。(40歳代・男性)
- ・ 高齢者は雪かきするのが困難です。私も祖母の家の屋根の雪下ろしに行きました。私みたいに頼る人が近くにいればよいけど、いないで雪に困っている人もいますので、若者の雪下ろしボランティアを今後活発にしていってほしい。(20歳代・女性)
- ・ 現在、市社協から委託されて実施している高齢者一人暮らしの門口除雪は、町会の役員が担当しているのが実状です。役員自身も高齢化しています。市社協と連携し、幅広く、生

徒・学生のボランティア除雪を組織化できないものでしょうか。（70 歳以上・男性）

- ・ 高齢者が多く住む市営住宅の雪対策を考えて欲しい。（70 歳以上・女性）

●都市環境 3件

- ・ 道路環境サポーター制度とあるがこのような制度に期待したい。（70 歳以上・女性）
- ・ 昨年のアンケートで観光地の多言語表示について意見を述べさせていただきましたが、今年新たに多言語表記の事業が増えていて、アンケートが市政に反映されていると感じました。ありがとうございます。近代建築の観光地化は必要だと感じます。以前スタンプラリーを行っていましたが、そのような企画を行うのもいいかもしれません。特に桜祭りの時期は観光客も多いので、弘前高校の鏡が丘記念館や弘前学院の宣教師館や聖愛高校の礼拝堂、昇天教会など、弘前公園から少し離れた建物も見学できるように特別公開してもらうとか、ツアーとして回れるような仕組み作りがあるといいと思います。（20 歳代・女性）
- ・ 今、水田に映る逆さ岩木山がきれいです。弘前市のフェイスブック等のウェブ上で弘前水田フォトコンテストなどやってみてはどうでしょうか。（30 歳代・男性）

●空き家・空き地対策 3件

- ・ 空き家の有効活用：老朽化した空き家が放置されているのが気になります。（40 歳代・女性）
- ・ 空き地、空き家拡充は進めてほしい。（20 歳代・男性）
- ・ 空き家対策について、条例などを制定して強力にその推進を図っていただきたい。（70 歳以上・男性）

●文化財の保全・整備 1件

- ・ 重要文化財等説明板等整備事業の新規事業に期待しています。地元の良さを再認識し、広めていきたいです。（30 歳代・女性）

●道路環境 3件

- ・ 茜橋から一町田までの間に街灯が一本もないようで真っ暗の中高校生が自転車で通っているのが心配です。（70 歳以上・女性）
- ・ 仕方ない部分もあるが、道が細いところでも小学生や高齢の方でも安全に歩ける工夫があればいい。（20 歳代・男性）
- ・ 工事はしょうがないとしても道をもう少しならしてから工事を中断？終了してほしい。（20 歳代・女性）

●交通施策 5件

- 公共交通について、利用者が減っている理由として、通学利用が極端に減っていると思う。通学利用者にはお年寄り並みの割引をお願いしたい。バス・電車通学は学生の交流の場となり、人づくりにもつながる。保護者がつきっきりで送迎することは必ずしも理想ではないと思う。（40歳代・男性）
- この分野ではないかもしれませんが、高齢者ドライバーのあり方について、自治体としての取り組みが急務ではと感じます。この一年だけで、高齢者ドライバーによる「ひやひやとする運転」に接する機会が急激に増えたように感じています。今後さらに高齢化が進むことを考えると、不用意な事故が増えるような気がしてとても心配です。（40歳代・女性）
- まちなかお出かけバスは大変助かっています。小学生以下の範囲を中学生以下にしていただけとなお助かります。中学生になると交通費がすべて大人料金になり、かなり負担です。（40歳代・女性）
- 路線バス・鉄道利用環境整備推進事業に関連して、観光客対策の他、過疎化により店舗のなくなった地域の買い物弱者、高齢の通院者などが利用しやすいバス路線網や、シェアータクシー制度などの検討や対策を望む声を聴くことがよくあります。（70歳以上・女性）
- 交通標識の設置は、警察署の業務であるとは思いますが、通学路で車両の数やスピードで危険と思われるところが多々あります。地域からの訴えがあれば、行政として警察署とのやり取りをしていただければと思います。（70歳以上・男性）

●廃棄物・リサイクル対策 9件

- ごみ問題 ここまで来たら全部のごみを完全有料化したらどうですか。ドイツではもう30年も前に有料化ですよ。有料にしたら1割にごみが減ったそうです。せっかくごみ分別までしているのにもったいないなあと思います。全国で一番最初に思いきって取り組んでみたらどうか。地球が泣いていますよ！！（70歳以上・男性）
- ゴミの量はたしかに問題だが、売る方の包装の過剰問題が改善されないことにはイタチごっこ。（70歳以上・女性）
- ごみの有料化はどの程度取り組みが進んでいるのか知りたいです。有料化になるのでしょうか。（60歳代・女性）
- 衣類回収ボックスが近くにないので、協力したいができない。（40歳代・女性）
- 大型ごみを町内のごみ置き場へ出すと無料なのに、直接持ち込むと料金が発生して驚いた。（40歳代・女性）
- ごみ分別アプリはスマホ利用者でないと恩恵を受けられないのでは？アプリ開発費を他の事業（スマホ所持しない人にも広く利用できるような）にまわしてはどうか。（30歳代・女性）
- 地球環境問題を考えると、ごみ回収の有料化、リサイクルの徹底が必要と思われる。（60歳代・男性）

- 廃棄物行政において、カラスによるごみの散乱はせっかく美しい弘前の街並みが台無しになり残念なため、極力毎戸収集を取り止めカラス対策が施された集積所方式を採用すべきではないか。（40 歳代・男性）
- 現在弘前市では、ごみ有料化について課題になっている。ごみの減量・資源化は重要であり、市民一人ひとりの意識の向上は求められているものの、一方でここ数年は減少傾向にあるということも踏まえて、市民の意見を聞きながら、慎重に進めて欲しいと考えている。有料化で良くなるメリットだけではなく、市民の生活とも照らし合わせて、市民の生活が苦しくなり、県外へ人財が流出してしまわないように、取り組んでほしいと期待している。（20 歳代・女性）

●その他（まちづくり全般について今後さらに期待したいことなど） 1 件

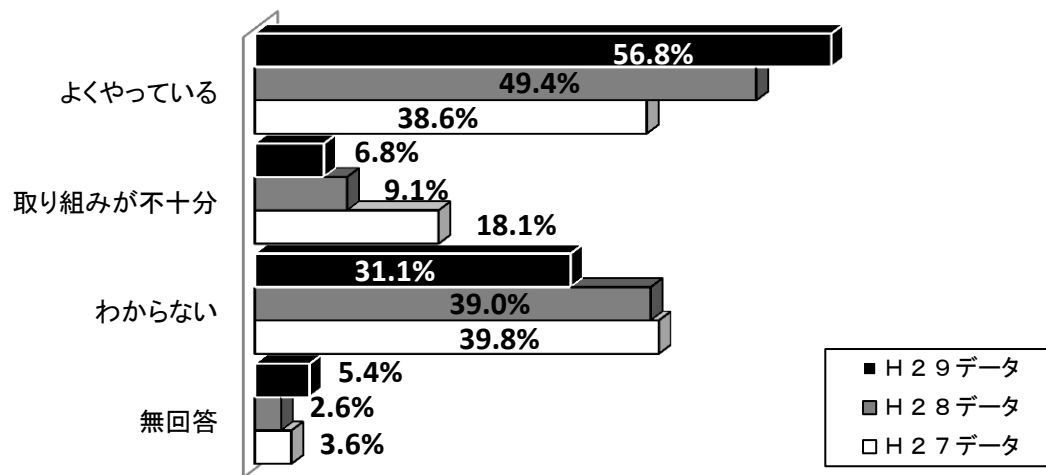
- 弘前型スマートシティ構想を推進し、将来にわたり住みやすい街づくりの創造を図ってもらいたい。（60 歳代・男性）

6. 分野別政策 なりわいづくり

激化する国・地域間競争や地域格差の拡大に対応するため、地域資源の付加価値を高めるとともに、新たな取組への支援を行うなど、地域の総合的な産業競争力の向上を図る。

「なりわいづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「なりわいづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は56.8%となっており、平成28年度より7.4ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は6.8%となっており、平成28年度より2.3ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は31.1%となっている。



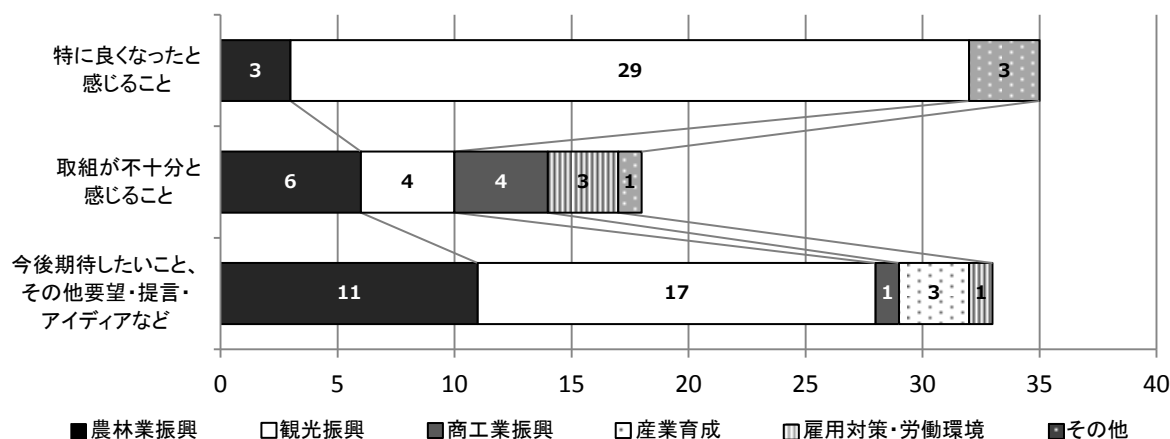
「なりわいづくり」の分野における自由意見

「なりわいづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特に良くなったと感じること」については35件の意見があり、分類すると、外国人観光客の増加やさくらまつり100周年記念事業など観光振興に関する意見が29件と最も多くなっている。次いで、農林業振興に関する意見とその他の意見が、それぞれ3件となっている。

「取組が不十分と感じること」については18件の意見があり、分類すると、耕作放棄地対策、農業後継者の育成など農林業振興に関する意見が6件と最も多く、次いで、商工業振興に関する意見と観光振興に関する意見がそれぞれ4件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど」については、33件の意見があり、分類すると観光資源の掘り起こしやインバウンド観光客への対応など観光振興に関する意見が17件と最も多く、次いで、農業の担い手確保についての提言など農林業振興に関する意見が11件となっている。



・・・・・・・・・・ 【この分野で特に良くなったと感じること】 ・・・・・・・・・・

●農林業振興 3件

- ・ 日本一のりんごのまちであり、反面、衰退もあり得ることを見据えた、りんご産業に対する取り組みは良いと思う。（40 歳代・男性）
- ・ りんご販売トップセールスなど、基幹産業のりんご販売に対してとても力を入れていると考えられる。（30 歳代・男性）
- ・ りんごの海外輸出など、ニュースを多く耳にするようになりました。消費拡大が農業を支えてくれると思うので、もっと多くの方に青森県産の農作物を食べて欲しいと思います。（30 歳代・女性）

●観光振興 29件

- ・ 100 年記念事業、民泊、運営事業等今後楽しみです。（70 歳以上・女性）
- ・ 弘前さくらまつり 100 年記念事業に関連して、外国の観光客が多くなったと思う。また、年中日本人の観光客が多いと思う。（70 歳以上・女性）
- ・ さくらまつり 100 年記念事業はよかった。（60 歳代・男性）
- ・ 弘前さくらまつり 100 年記念事業ということがとてもアピールされており、毎日さくらまつりを見に来た人がたくさんいたように感じています。今年もとても美しかったです！（20 歳代・女性）
- ・ 観光事業は頑張っていると感じます。さくらまつりから 100 年の節目ということもあり、今年も盛り上がりを見せていました。特に外国人観光客の呼び込み力に力を入れているのはいいことだと思う。来年度は 100 周年の記念ということで、さらなる盛り上げを期待しています。（20 歳代・女性）
- ・ さくらまつり 100 年記念事業など観光振興に大いに貢献している。年間を通しての観光振興が出来るよう期待したい。（70 歳以上・男性）
- ・ 弘前さくらまつり 100 年記念事業とクルーズ船誘客促進事業。（70 歳以上・女性）

- 弘前さくらまつり 100 年記念事業はいろいろな工夫がありとても満足された方も多いと思います。「さくらの町弘前」として、今後の観光客の導入に確実につながると思います。
(50 歳代・女性)
- さくらまつり 100 年イベントが充実して大変によかった。公園内で三味線を聞きながら飲食できるスペースがあり、斬新なアイデアだと思った。(50 歳代・女性)
- 観光は良くなったと思う。今年のさくらまつりで観光人力車や和船の運行など風情があって良かった。たか丸くんの観桜会 100 周年バージョンもかわいい。(50 歳代・女性)
- 観光振興。(60 歳代・女性)
- 観光振興については非常に努力されていて外からの評価もよくなっていることも感じます。「市民の翼」に参加して武漢のさくらのことを知りました。(70 歳以上・女性)
- ヒロロでは、中国人観光客が増えているように感じます。ただ、爆買いはおろか、財布の紐は固いようで、弘前を楽しんでいるのかちょっと心配になります。受け入れる我々の側にもまだまだ知識や準備が足りないように感じます。観光として受け入れる体制や心構えも市民が実感できるように進める時期にきているのではと思います。(40 歳代・女性)
- 弘前公園を観光資源として活用しつつ、観光客誘致に結び付いてる点はすごいと思う。
(40 歳代・女性)
- 今年の弘前さくらまつりは面白い取り組みをしていて興味深かった。(40 歳代・女性)
- 特に、観光分野で、人々の意識が変わってきていると感じている。観光客目線で例えば弘前公園やりんご公園などで接客している姿などを見ると、他県の人を案内することが多い自分としても自信を持って案内できる。(30 歳代・女性)
- さくらまつりでは、様々な新しい取り組みが行われ、話題性があり観光客にも好評であった。(60 歳代・男性)
- 市では、観光資源の情報発信に積極的に取り組んでいる姿がよくわかります。今後もソフト面の充実を図ってほしい。(60 歳代・男性)
- さくらまつり期間中にホテルが取りにくいと聞いたが、逆に期間外では空室があるので、新規に民泊事業をはじめたこと。(20 歳代・男性)
- イベント民泊はとても素晴らしいと思う。観光客が地元民とふれあえる機会になる。(20 歳代・女性)
- 私は弘前出身ではないので、知り合いにさくらまつりの折りは我が家に泊まってもいいよとコールしています。今年の民泊の取組みはまず一歩。宿泊の部分の解消につながるのではないのでしょうか。さまざまなイベントも話題性があって良いと思います。(50 歳代・女性)
- さくらまつりは年々新しい取り組みが増えており素晴らしいと感じる。(20 歳代・男性)
- 観光についての事業が増え、充実してきていること。弘前の活性化が期待できるから。(20 歳代・女性)
- 全国にますます弘前を PR できている。(20 歳代・女性)

- 観光部門。（20 歳代・女性）
- クルーズ船誘客促進事業をどんどん行うことで、さくらまつりやねぶた期間以外ももう少しにぎやかになるのではないかと考えた。（20 歳代・女性）
- 弘前城本丸の移転を上手くアピールし、観光客の誘致に成功していると思う。（40 歳代・男性）
- 今年の桜まつり期間中の観光客の多さは格別で、中でも外国人・クルーズ客船団体と思われる観光客が目立って多かったと感じました。青森の友人の話では豪華客船がまつり期間中に3回寄港し、クルーズ船から降りた観光客は、ずらりと並んだ弘前さくらまつり行き観光バスに次々に乗り込んですごかったということでしたので、クルーズ船効果の素晴らしさを納得しました。（50 歳代・女性）
- インバウンド事業として、動画を制作したとニュースで見た。地域のクリエイターと協力してさらにいい動画を作してほしい。（20 歳代・女性）

●その他（なりわいづくり全般について良くなったと感じること） 3件

- 観光振興、商工業振興良くなっている。目に見えてやりやすいからだと思う。（70 歳以上・男性）
- 全般に良くなっていると思います。（60 歳代・女性）
- 農林業振興、観光振興。取組みが市民の目に見える形で進んでいる気がします。（30 歳代・男性）

・・・・・・・・・・・・・・・・【この分野で取組が不十分と感じること】・・・・・・・・・・・・・・・・

●農林業振興 6件

- 第一次産業、米とりんご農家の後継者育成・担い手不足対策に強力に取り組んでほしい。（70 歳以上・男性）
- 耕作放棄地は宝が眠っている。自然栽培を実施するチャンスです。健康や病気対策も必要だが食べ物の中身を再考する時にもう来ていると思う。食文化の見直し・大切さをどうするのですか。（70 歳以上・男性）
- りんごの活用がまだまだ甘い気がする。りんごのイベントをもっと多く実施してほしいし、他県からどうやって人を呼び寄せるか考えて欲しい。（30 歳代・女性）
- 沢山の経費をかけ、りんごに関するイベント等を開催しているようですが、末端まで浸透していないと思う。やって満足ではなく、やった事を皆に広める、知ってもらう事にも力を入れるべき。（40 歳代・女性）
- 私にも、『りんご農家を継いでくれ』と話しがきました。何の知識も経験も無いので、自分には無理だ…とすぐに諦めてしまいます。やってみようかな…と思えるようなサポートや環境であれば、少し興味もありますが…。同じ気持ちの人は少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか…。そんな人たちの背中を後押しできるようなセミナーなどをたくさん開催してみると農業も身近なものになるのかもしれない。（30 歳代・女性）
- りんご事業の低迷。（50 歳代・女性）

●観光振興 4件

- ・ 取組みが不十分である。さくらインバウンド促進事業 「さくらのまち弘前」の海外での認知向上を目指し、中国武漢市、アメリカワシントンDC と世界の桜の名所として世界へ情報を発信。（70 歳以上・男性）
- ・ 主要な観光地には中国語や英語など通訳できる人の配置が必要と思う。（40 歳代・男性）
- ・ 観光については、春に桜まつりをピークに夏、秋、冬と減っていくと思いますが、桜まつりの際に” 次はねふた祭りで会いましょう” 的なPRがもっとあっても良いのではないのでしょうか。（30 歳代・男性）
- ・ 民泊には興味もあり良いことだと思いますが、課題も多いのかなと感じます。相手の素性がよく分からないということが大きな不安になるのでは、その辺のことでトラブルになった時の市の対応はどうなっているのかと思います。（50 歳代・女性）

●商工業振興 4件

- ・ 土手町のこれからが見えてこない。（60 歳代・女性）
- ・ 首都圏に比べて全く魅力を感じない。ファッションの街弘前という割に、ブランド、ショップが少なすぎるし、五所川原市の方がまだある。これだと若者は都市部へ出ていくと思う。（20 歳代・女性）
- ・ 農林業・観光振興は良いと思うが、商工業振興への取組みが不十分に感じる。（40 歳代・男性）
- ・ 取組みがあまり見えないと思います。（30 歳代・男性）

●雇用対策・労働環境 3件

- ・ 地元就職を増やす一因として、地元就職の推奨を行うとよいと思う。市のある基準を定め、その基準に達した者への奨学金制度など。実際まわりの関東方面への進学者はそのまま関東の会社に就職する人が圧倒的に多い。（20 歳代・女性）
- ・ 若者を弘前で働かせようという取組みがあまり活発ではないと感じます。今年就活生ですが、弘前市が地元企業に就職させようとおこなっている事業があることを全く知りませんでした。もっと積極的にやってもいいのではないのでしょうか。人口流出を食い止めるためにも中で若者の力は必要です。何とかお願いします。（20 歳代・女性）
- ・ 大学・企業連携地元就職推進事業について。大卒・高卒者の地元就職対策は長年の課題になり対策も講じられていると思うのですが、地元で頑張っている若者の中にも正規就業者が少なく、結婚・子育てに不安を感じている若者の声を聞くことがあります。首都圏からの移住者呼びかけと並行した強力な支援があればと感じています。（70 歳以上・女性）

●その他（なりわいづくり全般について不十分と感じること） 1件

- ・ 周知が少ない。（30 歳代・女性）

・・・【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど】・・・

●農林業振興 11件

～担い手確保について～

- ・ 休耕地活用、個人農家では後継者不足となるため、共同作業できる組織作りが必要。機械等維持費が少なくなるのではないかと。(50歳代・男性)
- ・ 農業の担い手の対策としては、小学生の時などに、農業の楽しさを感じる事が出来る体験をさせたら良いのでは。りんごもぎだけでなく、育てる、売るといった楽しさを教えることも大切だと思う。(20歳代・女性)
- ・ 農業後継者対策として思い付きですが、農業後継者不足解消のために、農業者の子女が農家の跡継ぎとして家業を継ぐ場合は、家族であっても後継者になるまでの一定期間、雇用者と同じように給料を支給できるような支援制度があれば良いと思います。そんな制度はあるのかどうか分かりませんが、ないのなら給料支払資金のための助成金制度など、実現に向けて大学や行政などとの連携研究・開発があれば良いと思います。(70歳以上・女性)
- ・ りんごの販売促進のためのトップセールスは必要だと思う。しかし、それ以上に、農業・農家への支援や後継者対策等について力を入れてほしい。「農業に対する偏見」をなくするためにも、教育現場で子供の頃からの本気の食農教育が必要では。(40歳代・女性)
- ・ りんご産業にとって担い手を育てることも必要だが、良品生産には作業員の確保も必要。外国人研修生・労働者も一案だと思うが今後見込めるものだろうか。一部にベトナムの皆さんが来ているようだが、成果は出ているのだろうか。結果が聞こえてこない。生産者も相手が外国人だと不安もあるかもしれないが、市が間に入ってくれるならこれほど心強いものは無い。いいものであるならば、将来のりんご産業のために推し進めて頂きたい。(40歳代・男性)

～その他（農林業振興について今後さらに期待したいことなど）～

- ・ りんご産業以外の育成する産業について、長期的な試みが必要ではないか。(60歳代・男性)
- ・ 何回でも提言する。りんご公園の拡大と充実、りんご協会を移設して一大拠点に、農作業などの応援基地にできないか。いっぱいあると思う。・りんごの自然栽培を実施してほしい。・津軽のりんご産地を世界遺産へ・定期的に世界りんご作り大会を開催・毎月1回必ずりんごイベントを開催して県内外から人を集めること。(70歳以上・男性)
- ・ アップルパイ選挙とか Apple 1 グランプリ（りんごを使った B1 グランプリみたいなもの）芸能人に来てもらってりんごのイベントを行うとか。まあ、言うだけなら簡単で実行するのは大変ですが…りんごづくしの街にしてほしい。(30歳代・女性)
- ・ りんご産業は特に青森県が誇れるものだと思うため、存続していけるための事業をこれからさらに期待したい。(20歳代・男性)
- ・ 今後りんご価格。下落が考えられるので、市がJA等と一丸となって販売に取り組んでほしい。(30歳代・男性)
- ・ 冷蔵技術等の進化により、長期間りんごの保存が効き、いつまでも美味しく食べられるようになってきた。りんごの拡販につながると思います。(50歳代・女性)

●観光振興 17件

- 桜まつり、ねぶた、紅葉と菊人形、雪灯籠などもこれらにもっと関連付けがあれば相乗効果生まれそうな気がします。また、ねぶた期間の日中におはやし体験等もっと祭りが充実する何か欲しいと思います。(30歳以上・男性)
- さくらまつり期間中、中国人の中年夫妻を本丸で見かけたが、妻は桜の枝を折り袋の中へ。夫は”つまみっ鼻”？って言うのか…？今では見かけない仕草。こわくて注意もできず。こんなのが増えるのかと思うと気が重い。若い娘たちは若木の根元でポーズ。親が子どもを桜の枝に座らせて写真を。(70歳以上・女性)
- さくらまつりは年々Twitterなどでも綺麗さが話題になっているため、ごみ、駐輪場をもう少し改善したらもっと他県に自慢できるよりよい街になると思う。(20歳代・女性)
- 地域高校・大学など若い力とアイデアを活用出来ればと思う。公園ボランティアガイドに、ゴールデンウィーク期間、高校生を活用するなど。(70歳以上・男性)
- 弘前市はとてもPRが活発にできていて良いと思います。今年は弘前公園の桜が100年ということで人がたくさん来ました。これを機会に益々弘前を全国に広めていければと思います。次は、ねぶた祭りがあるので、また人がたくさん来るようPRを何か考えられたらと思います。(20歳代・女性)
- さくらまつりでは、人力車や観光舟運行など、新しい催しができていて、見ているだけでワクワクしました。観光客の方々も、たくさん来てくれていたので、これからも増えてくれることを期待しています。(30歳代・女性)
- ねぶたは少子化の影響もあると思いますが、以前に比べて参加者が少なくなり、前ねぶたの台数も減っているように感じます。もっと盛り上げてほしいです。(30歳代・女性)
- 各地で様々な”御膳”が観光客の集客に一役かっているようですのでそのようなものをつくるのはどうでしょう。りんご&さくら御膳とか。(60歳代・女性)
- 観光資源の掘り起こし、紹介手法は、絶妙だと思います。しかもスピード感を持っての実施は、大変でしょう。例えば悪いですが、「乱獲」していませんか。資源は有限が定説です。大切に使い、育てる必要があります。仕掛けるネタが無くなってしまったら、どうしましょうか。もう少し「ゆっくり、じわ〜っと」を勧めます。(50歳代・女性)
- 大きな観光施設があればいいなと思います。ねぶた村は少し狭いかなと感じます。(40歳代・女性)
- イベント民泊事業：とても興味があります。自宅を提供した方、民泊した方の感想を聞きたいです。(40歳代・女性)
- 今後ますます増加すると予想されるインバウンドの対応として、弘前が持っている自然、観光、産業、文化を特化してアピールすると良いのではと思う。例えば、「和の文化」の街として、禅林街・寺町を「浄」や「禅」のエリア、相馬や岩木地区の農村原風景が残る場所を「桃源郷」エリア、こぎん・藍染・ブナコ等を「匠」のエリア等、市内10~15のエリアを指定し、関連する漢字で名称化して、観光客を取り込んでみてはどうか。各エリアの巡回バスも可能ではないだろうか。(60歳代・男性)
- 民泊に関して、一般的に問題となっている民泊場所で観光客が騒ぎ、近所に迷惑をかけることを防げればよい。(20歳代・男性)

- イベント駐車場もよいのでは。（20 歳代・女性）
- 年々、祭り期間の外国人観光客が増加しているよう見受けられる。外国人向けの街歩きツアーや、昼間の名所巡りだけでなく、“夜の楽しみ方”のガイドなどもあれば、より濃い観光の思い出づくりができ、リピート性が高まると思う。（20 歳代・女性）
- youtube などに PR 動画なども載せており、全国に弘前を知ってもらえているので今後も続けてほしい。（20 歳代・女性）
- 外国人観光客を取り込むという取り組みはいいことだと思います。しかし、地域の人がそれについていけているのかという課題もあると思います。例えばお土産屋さんにしても全部が全部英語で対応できるスタッフがいるお店ばかりではないと思います。ペラペラじゃなくても外国人と対応する心構えが地域住民にも必要だと思います。外国人観光客が来た時の対処法を知る場があったらいいと思います。（20 歳代・女性）

●商工業振興 1件

- 商店街の賑わいづくりは、今の街並みのままで進めるのは難しいのでは？経営力に自信のある店舗は継続し、あとはテナントに。街を作り直し、そこに行政も支援して速やかに店舗が埋まるようにしてはどうか。街中を使ったアウトレットモールなど。東京へ行くと町ごとにテーマが決まっていて目的に合わせ自然と足が向く。（40 歳代・男性）

●産業育成 3件

- ベンチャー等雇用の受け皿の拡充。（20 歳代・男性）
- 市街地の空洞化に関しては、新規創業者に対する経営指導やテナント料の補助等を行い、また市外若しくは県外からの人を誘致するため、大型アウトレットを誘致する等、今有る観光資源＋αで人の集める工夫が必要ではないか。（40 歳代・男性）
- 若者の就業 若者の地元就職に向けた取組みについては、今後も期待しています。（50 歳代・女性）

●雇用対策・労働環境 1件

- 「ひろさき UJターン就職促進事業」について、首都圏での面接会等開催だけでなく、実際に弘前に来てもらい、首都圏からの「近さ・遠さ」等、実感してもらえるようにしたらどうか。交通費補助等、負担は大きいと思うが…。（40 歳代・女性）

7. その他市政に対する意見・要望、新たに課題となっていることなど

●市政全般 12件

- 1. オール弘前体制の構築 大学・研究機関等との連携の推進 2. 強い行政の構築 市役所の仕事力の強化 に力を入れてください。(70 歳以上・男性)
- スクラップ・アンド・ビルドが進んでいるように説明されているが、様々な部門で現行事業の見直し・改善、アイデア等が受け入れられない体質がある。例えば、これまで何年もこうして何年もこうしてやってきたので、これで良いのではないか。時代の変化に寄り添いながら、関係者間で大いに議論し、ある一定の方向ができれば改善・改革する必要がある。ふるい体質・上から目線、早急に発想の転換を進めてほしい。(70 歳以上・男性)
- 様々な課題はあると思いますが、市長が変わり政策をある程度維持していかなければ発展は難しいと思います。(50 歳以上・男性)
- 事業の結果について…各分野でいろいろな事業が実施されており、それは各部署が優先度を判断して、実施していると思うし、それぞれ効果が期待される事業ばかりだと思います。いろいろ考え、やることが沢山あって、市の職員も大変だなと思います。良い結果を出すのが必須なので苦労が絶えないと同情しています。事業のメニューが多く、街がなんとなく賑わっていて、職員も一所懸命頑張っていて、何らかの指標を示して、良いほうへ向かっていると言われれば、そうかと思います。「地域経営」という方針がありますが、「仕掛ける」のにどれだけ費用がかかり、どれだけ利益があったかを問うのは、愚問でしょうか。賑わいが創出されただけで、合格としましょう。(50 歳代・女性)
- 持続可能な社会への懸念について…桜守を配置するなど、弘前公園の維持継承にあらゆる努力をしていることに敬意を表します。弘前公園が無くなることは望んでいません。何とかして維持・継続して欲しいと思っています。しかし一方で、税収の減少に伴い、国や県への施設や事業の統合や、民間化が検討され、容易に廃止・統合の方針が出さるのではないかと心配しています。時代の趨勢で仕方のない結論かもしれません。極論ですが、「持続可能な社会」とは、施設や事業の廃止、統合、包括事業化、民営化を行うしか手段がなくなり、市役所に秘書課と企画課しか残らない。ということでしょうか。(50 歳代・女性)
- 最近では球場を作ったり、美術館を作る計画が出たり、観光客が来るようなイベントを行ったりと外から人を呼ぶためにお金を使っていることが多いと感じます。それは悪いことではありませんが、市民の為に活用されるようにしてほしいと思います。球場にしても地域の人々が利用できるような事業を行うべきだと思いますし、美術館にしても地域の生涯学習をさせる施設としても活用されてほしいと思います。対外政策と対内政策のバランスをうまくとってほしいと思います。市民が置いてきぼりにならない市政運営を期待しています。(20 歳代・女性)
- 住民の方たちはたくさん不満を持っています。きっと市に言っても無駄だと何も言わない人が多いと思います。さくらまつり、野球とすいぶん賑わっていますが、医療・福祉の面ではこんなに高齢者が多く、異常なほどの個人病院、老健などの施設があるのに関わらず、あいかわらずの短命県、もっと予防事業にも力を入れるべきではないでしょうか？また、ただの寿命を延ばすのではなく、健康寿命を延ばしていくべきだと思います。また、はっきり言って、こんなに何も無い田舎では若者はみんなより遊べる環境、学べる環境、働ける環境にうつります。学力が低く、高校に進学しない人はみな都市部へ行きます。また、経済的な面でも進学が厳しい人がいるというのも問題だと思います。弘前らしい、田舎の良さというのも分かりますし、好きですが、若い人たちはみんな仙台や東京に

出たいと思っているでしょうね。田舎らしさの良さを残しつつも、もっと都市部に近い発展をさせるべきです。県外にはあるのに、弘前にはない店が多すぎます。汚い字ですみません。思っていることを書いてみました。いろいろ大変ですが頑張ってください。（20歳代・女性）

- 地域経営アンケートで、地域の世帯を回ると、おおむね協力的で市民の皆様の優しさに救われたりします。これからも地域の皆様に信頼される市役所であってほしいし、少しでもお役に立てればと思います。いつもお疲れさまです。（50歳代・女性）
- 私は市長さんに対して本当に子供愛があると思っています。必ず子供達に笑顔で接してる所を多々見受けます。大切な事だと思います。葛西市長頑張ってください。ファイト！！（50歳代・男性）
- 市議会議員さんたちは頑張っているようです。弘前からはサラリーマン議員さんが一人も出てこないことを祈っております。（70歳以上・男性）
- 自分が農業に携わっているからだが、農業関連の部署が旧上下水道部庁舎に移動して大変便利になった。新しい駐車場は出入庫に思ったより時間がかかり、便利なようで不便なので水道局は本当に助かる。願わくばこのまま旧上下水道部庁舎に定住？してほしい。または岩木に行って欲しい。分室？という形でも構わないので、数名配置してもらえると助かるのでは…と考える。（30歳代・女性）
- 税金を下げてほしい。（40歳代・女性）

●市役所の仕事力 6件

- 特に無いですが、弘前市職員の皆さんの頑張りは常日頃目にしており、今後とも期待をしております。（30歳代・男性）
- この1・2年で、市職員の対応が親切丁寧で非常に良くなったと思います。市民や市を訪れる観光客も同じように感じていると思います。職員の皆様にとっては大変なことと思いますが、今後も奉仕の心を持って市民に対する優しい応対をお願いします。（60歳代・男性）
- 大変よくやっているといます。新しいアイデアを継続して出してほしいと思っています。（60歳代・男性）
- 職員教育は特に「育」を重点に実施してハードよりもソフトの良き職員を増やすべき。（70歳以上・男性）
- 弘前城の曳家が話題になったときには、改めて弘前の歴史と文化を誇りに感じる事ができ、先日のプロ野球一軍の試合では、弘前にいてもトップレベルの空気を感じられることに感激しました。どの行事の感動も、きっとたくさんの市役所のみなさんの地道な活動の結果が生んだものだと思います。何事も一朝一夕にはいかないと思いますが、弘前市役所の皆さんの地道な仕事の積み重ねが、弘前市民の誇りにつながっていると思います。好き勝手に筆を執りましたが、弘前に暮らせて幸せです。ますます素晴らしく、誇らしい弘前になるように、心より願っております。（40歳代・女性）
- 市民には市政のことは伝わりにくいのではないかと考えています。今まさにそれに携わっている人が市民に伝える、わかってもらうそれこそが一番大切なことではないでしょうか。それが基礎となり市に協力して自分の住んでいる弘前をいいものは残し、悪い慣習は

改めていくことが大切だと思います。言葉にすると簡単で行うことは難しいと思いますが、職員の方々によっては職員になることがゴールとなっている方も多いように思います。他市に比べ苦しい財源の中から市を運営しているということ肝に命じてほしいと思います。そしていつでも市民より、より多くの知識を持ち視野を広く市民に分かりやすく支援できる立場にあってほしいと思います。自分たちは給料も待遇も守られた環境にあると想像力に乏しくなるのか何でも形だけ整えていけばというスタンスを感じます。そして職員の発見に不用意さと不公平さを感じます。人間なので万全ではないのは分かりますが、市民から見るとそれだけ物を享受しているわけですからその努力をする必要はあると思います。もちろん、すごいなと感心する仕事をされている方もいると感じていることも申し添えさせていただきます。（50歳代・女性）

●「花」で彩るまちづくり推進事業 2件

- 「花」で彩るまちづくり推進事業に関連して…とてもすてきな新規事業にちなんで、植栽する花の苗を育て供給する団体の立ち上げや組織づくりの構想の検討を行い、来年度からでも実現出来たら一層すばらしいと思います。（花を植えて世話をする人たち⇔苗を育てる人たち⇔生ごみだい肥化ダンボールコンポスト肥料提供者・・・・・・全体の企画をするNPO法人など・・・・・・耕作放棄地、空き家の活用 など）（70歳以上・女性）
- 花で彩るまちづくり推進事業はとても良い。各小中学校で一鉢運動でも実施すれば桜だけでなく植物を育てる（心を育てる）運動になる。（60歳代・男性）

●ふるさと納税 2件

- 弘前のふるさと納税と聞いても、何をどう実施しているのかあまりわからない。もっとPRしてもいいと思う。県外にいる人でもぜひ弘前に寄付したいと思えるように観光現場で（さくら祭りなど）PRするのはどうでしょうか。（20歳代・女性）
- 弘前市はふるさと納税の返礼品が他の市町村に比べて、あまり魅力が感じられません。もっとふるさと納税限定のものがほしいです。たか丸くんやふらいんぐういっちの非売品グッズがあると若い人の目を向けられるのではないかと思います。りんごも沢山の品種を扱うべきだと思いました。（30歳代・女性）

●広聴・広報 7件

- 市のせっかくの取組みも、市民への浸透度はイマイチではないかと思う。テレビ番組等で広く情報発信すれば、男女・年代関係なく知ってもらえることができるのでは？（40歳代・女性）
- 弘前はいろいろな取組みを行っていると感じます。だからこそそれを知らない市民が多いことはもったいないと思います。特に若い世代は知らないです。学生時代に知っていればそのまま弘前に住もうという選択もあると思います。学生には市の広報も届かないですし、大学に置いていたとしても興味ある人しか見ません。弘前に住んでいて住民票を移していない学生にも広報が届くように、每户配布するなどの工夫が必要だと思います。（20歳代・女性）
- カタカナ語が多すぎる。様々な資料、広報に解説欄を設けて説明を加えてほしい。（70歳以上・男性）

- 市が以前に比べて、弘前での居住環境等を向上しようとしている姿勢はすごくわかるが、アピールはまだまだ足りないと感じてしまう。広報誌でのお知らせ等では限界があると思うので、テレビ・ラジオなどをもっと活用して、「あ、また弘前のことニュースに出てる…」と嫌われるほど情報発信してほしい。（40 歳代・女性）
- 農家の人手不足は深刻で、夜疲れて広報を読む気力もありません。このままではあと 5 年、10 年もちません。そもそも農家は字を読むのが苦手なので、できればラジオで広報していただきたい。農家はラジオだけは聞いています。（50 歳代・男性）
- 良い取り組みも広く知ってもらわなければ活用できないので、広報活動をしっかりしてほしい。（50 歳代・女性）
- 年々、弘前市はいい取り組みをしている、と感じることが多くなりました。だからこそ広報の力が足りないのは残念に思います。ネットも活用しているいろいろやっているとは思いますが、若い世代には伝わっていないのが実情です。市の広報を每户配布にするのは必要だと思います。学生など住民票が弘前になくても住んでいる人がいるのです。そういう人を巻き込まなければこのまま人口は減少していくでしょう。弘前の魅力を伝えるためにも必要なことだと思います。（20 歳代・女性）

●政策効果モニターアンケート 3件

- 人の考えは多種多様である。行政がこれをしているという自己満足では何も変わっていかないのでは、住民がいったい何を望み何を感じ思っているのか吸い上げることが大切と思う。その為、世論調査というかもしれないが、問があまり抽象過ぎて的を絞って発信しにくい問になっている。もう少しなんとかならないものかと設問を読みながら思う。（50 歳代・女性）
- 資料を見ると、知らなかった事業がたくさんあり、活動の充実さを改めて知ることができました。このような素晴らしい市の取り組みを市民のみなさんにももっと知ってもらい、意識の向上を図り、活用していけば、今まで以上の成果につながると思います。（50 歳代・女性）
- 政策効果モニターに参加して…新聞も市の広報もよく読む方だと思います。市の開催する行事にも時々参加しています。しかし、頂いた資料を見て、各方面に高い目標、計画を持ってすごいことをやっているんだなと思いました。私たちの生活のどこで関わっているんだろうと思います。友達ともそんな話になります。このアンケートに答えられる人は広い視野と専門的な知識がなければ回答できないのではと思ったりします。難しい単語、横文字、辞書を引ながらです。きっとモニターの資格があったのに私は間違って推薦されたのだと思います。もし一般の市民から選ぶならもっと理解できる説明にしてください。弘前のことは知りたいですし、ここに生まれたことを幸せだと思っている市民です。（70 歳以上・女性）

●市民協働について 4件

- 人が少なくなり町会の維持が困難になっています。町内会がなくなっても市のサービスを最低限維持できるシステムが必要だと思います。（50 歳代・男性）
- 市民参加型まちづくり 1%システム支援事業について…1%とはいえ、貴重な個人市民税を財源としているからこそ、より有意義で地域に貢献したアイデアを採用していただきたいです。すべての事業によるプロジェクトを把握しているわけではありませんが、一昨年

に行われた学生発案イベントが、果たしてこの1%システム支援事業の一環として行われるに値するのだろうか、と少し疑問に思っていました。もちろん素晴らしいイベントも他の民間企業、学生等企画していることと思います。この1%システム支援事業を否定しているわけではなく、市民税を財源としてまで実施する以上、もっと厳しく審査していただけるとありがたいです。（その場でプレゼン→審査終了ではなく、こういったモニターアンケートでの投票結果も加味する等。）勉強不足な学生の個人的な意見ですが、地域貢献性の高いとはいえない企画を、無理に採用するのではなく、慎重に審査していただきたいと思いました。（20歳代・女性）

- 市民参加型まちづくり1%システム支援事業について…この事業は大変好評で、年々市民団体や町会などに広まり、文字通り市民参加型の地域づくりが盛んになってきているようです。こうした市民参加による地域活動を一層盛り上げるために、1%システムから2%システムにアップの検討をしてみるのはいかがでしょうか。（70歳以上・女性）
- 住み良い環境を整えるためには、市民の協力も不可欠なので自分も率先して取り組むと同時に、その輪を広げることができるように、これからも考え行動していきます。（30歳代・女性）